

# 情報コミュニケーション学部

SCHOOL OF INFORMATION AND COMMUNICATION

「個」を強くする大学。



**MEIJI**  
**UNIVERSITY**

# “Diversity” makes the world go round.



情報コミュニケーション学部長  
阿部 力也 (あべりきや)

1967年生まれ。1991年中央大学法学部法律学科卒業。1995年明治大学大学院法学研究科公法学専攻博士後期課程単位取得退学後、明治大学法学部専任助手。1998年同大学短期大学(当時)専任講師。2005年同大学情報コミュニケーション学部専任助教。2008年同大学法科大学院法務研究科専任准教授。2011年同大学法科大学院法務研究科専任教授。2019年明治大学情報コミュニケーション学部専任教授(法務研究科兼籍)、2020年兼籍解消、現在に至る。著書に「共同正犯の構造」、「刑法総論講義案」など多数。博士(法学)。

## 学部長メッセージ

### 主体性を持って学び、自らの「問い」を発見・解決する4年間

情報コミュニケーション学部における教育と研究を支えるのは、「社会の現在(いま)を捉える」、「多様で学域横断的なアプローチ」、「創造と表現」という3つの大きな柱。学際性と多様性を重視するのが本学部の特徴であり、学びの対象が複数の学問領域を横断するため、学生一人ひとりの興味・関心に基づいた学びが可能であるところが魅力です。カリキュラムもこの3つの柱に従って展開されています。多様な最先端の研究を紹介することから始まり、学びの基礎を固めつつ、段階的に学際的なアプローチの実践を可能とするようにカリキュラムが設計されているのです。主体的に問いを発見し、一定の解決を得るために履修科目をカスタマイズすることと、課題解決のために全学年に設置されたゼミナール科目を有効に活用することで成り立つ、重層的な「学びの場」の提供が本学部のカリキュラムの最大の特徴と言えるでしょう。

私の研究領域は刑事法学。特に刑法の解釈を専門としています。理解を深めるうえでは、法律学に隣接する諸科学の成果を借りながら、いくつもの問いを立てることが必要です。このように1つの専門的なテーマを考える過程のなかでさえ、多角的なものを見方が求められます。国際紛争、環境問題、食糧問題、様々な格差への対応、凶悪犯罪の発生など、現代社会に生起するあらゆる事象が単一原因によるものではないのは当然です。事象が複雑であればあるほど、1つの学問領域からだけでは、問題を分析し、一定の解決を得ることは不可能であ

るといい良いでしょう。だからこそ「社会の現代(いま)を捉える」ことを掲げている情報コミュニケーション学部で学んだ学際性・学域横断的な思考の枠組み、あるいは方法論に従ったアプローチが現代の諸課題の解決に寄与すると私は考えます。

しかし、学際的な学びを目指し、実践することは容易ではありません。学際的に学ぶとは単に隣接・類似しているように見える複数の科目を履修することではないのです。我々が講義・ゼミナールで提供したあらゆる基礎論から、それぞれの学生が自らの問いのもと、重複すると考えられる問題領域を見出す知的な営み・実践こそが、情報コミュニケーション学部が標榜する学際性なのです。皆さん自身の学びの深度に応じて、問題領域は狭いものにとどまるかもしれませんし、無限に広がるかもしれません。だからこそ「学びにおける主体性」を自覚していただきたいと強く念願しています。そして皆さんの主体的な学びを支えるため、本学部ではアクティブ・ラーニング、アクティブ・タームの実質化を推進。既存の「世界のキャンパスから」を含めた、海外の研究者と連携した教育プログラム・学生交流プログラムの拡充も図ってまいります。

ぜひ情報コミュニケーション学部で多種多様な学びから、自らの「問い」を発見してください。問いの解決を目指して主体的に学ぶ4年間で得た糧は、きっと社会に出るから活躍する素養を育むことにつながるはずですよ。

動画と記事で学部を知る  
「Step into Meiji University」も  
ぜひご覧ください



## CONTENTS

学部長メッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 01  
 情報コミュニケーション学部概要・・・・・・・・・・ 03  
 情報コミュニケーション学部の特色  
 ～個を育てる情報コミュニケーション学部の学び～  
 ①自分自身で「問い」を立て、多角的な視点から  
 アプローチする楽しさを学ぶ・・・・・・・・・・ 05

②大きな課題に対して、できることを考え、実践し、  
 SDGsに貢献する・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 07  
 ③教員と学生による座談会  
 多種多様な分野が相互につながりあうことで、  
 主体的に深めたい学際的な学びの場・・・・・・・・ 09  
 カリキュラムの特長・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11  
 自らカリキュラムをカスタマイズし、問題を発見・解決する4年間

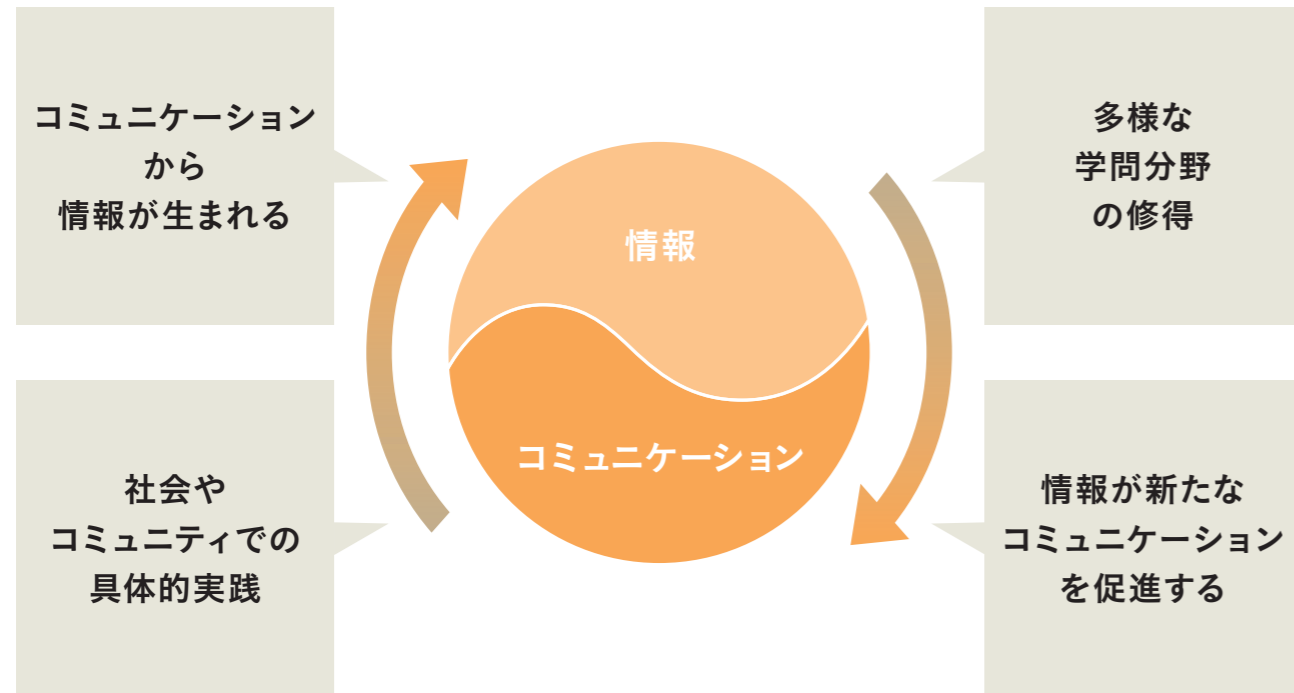
■1・2年次：多様な研究の最先端を知り、問題を発見する・13  
 ■3・4年次：問題を分析し、解決する・・・・・・・・ 15  
 ゼミナール教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17  
 基礎教育・専門科目・・・・・・・・・・・・・・・・ 19  
 国際交流・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21  
 教員紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23  
 就職実績 資格取得・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

情報コミュニケーション学部生の1日・・・・・・・・ 26  
 卒業生からのメッセージ・・・・・・・・・・ 27  
 ジェンダーセンターの活動・・・・・・・・・・ 29  
 入試情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

※登場する人物の在籍年次や役職等は、取材時点のものです。  
 2023年以前撮影の写真も掲載しています。

## 動き出せ、イマ — 貫く多様性 広がる可能性 —

情報コミュニケーション学部を表象するこのキャッチコピーは、本学部卒業生が創作したもので、「情コミは、学問はもちろん、性・言語・宗教等すべてにおいて開かれた環境」であるという思いがコンセプトになっています。



### ▶ 情報コミュニケーション学部の3つの柱

#### 1 社会の〈現在〉を捉える

iPhoneやAndroidに代表されるスマートフォンの普及。さらにXやFacebookなどのSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の爆発的普及とTV離れ現象。現代社会はネットワーク技術に支えられながら高度情報社会の段階に突入しました。一方、こうした社会の情報化がネット上での様々な犯罪や情報セキュリティの問題を引き起こしたり、政治や経済のあり方に大きな変化をおよぼしてもいます。本学部はこうした情報社会の生きた現実と向き合い、問題を探るカリキュラムを用意しています。

※iPhoneは、Apple Inc.の商標です。 ※AndroidおよびAndroidロゴは、Google LLCの商標または登録商標です。  
 ※XおよびXロゴは、アメリカ合衆国または他の国々におけるX Corp.の登録商標です。  
 ※FacebookおよびFacebookロゴは、Meta Platforms, Inc.の商標または登録商標です。

#### 2 多様で学域横断的なアプローチ

高度情報社会の問題は、複雑で多岐にわたります。従って、様々な分野の知が協働して問題に取り組まなければなりません。情報コミュニケーション学部では、社会科学を軸にしながら、人文科学や自然科学を取り込んだ学域横断的 (interdisciplinary) な視点から、また皆さんの主体的な取り組みを最大限尊重するようにカリキュラムが設計されています。

#### 「情報コミュニケーション」って

「情報」は、マスメディアや書籍、スマートフォンやパソコンなどを介してアクセスし取得する静的なもの、他方「コミュニケーション」は、人と人との言葉やジェスチャーを通じた動的な交流です。情報がコミュニケーションを促し、そしてコミュニケーションが新たな情報を生み出すわけです。「情報」と「コミュニケーション」は切り離すことができない、一体化したプロセスだとわたしたちは考えています。

#### 学部プロモーションムービー

一人ひとりが興味を持った分野を深められ、その先で出会う好奇心、領域を越えた学びへの意欲に応える環境がここにある。そこには、学生本人が主体的に動き、これからの時代に、自分で人生を切り開く力をつけてほしいというわたしたちの願いが込められています。本学部では、その魅力を、約2分間のプロモーションムービーとして公開しています。



#### アクティブ・ラーニング

短時間で集中的に学ぶクォーター授業(\*)や、オンデマンド型で実施するメディア授業、フィールドワーク、ワークショップ、学外研修など、学生による主体的な活動を支援する科目を設置しています。

\*通常授業より短い期間で学ぶことで、修得度向上や、空いた時間を留学等他の活動に活用することを目的としています。

#### 3 創造と表現 (Creation & Expression)

情報コミュニケーション学部では、既存の伝統的な知の蓄積を尊重することと並んで、皆さんが自ら何かを創造し、そして、何らかのメディアを使ってそれを表現することを支援します。論文や文芸などの言語表現、アニメーションを含む映像表現、ダンスやパフォーマンスなどの身体表現、ミュージッククリップやライブといった音楽表現など表現の手段は問いません。カリキュラムでもこうした実践をワークショップのかたちで拡充中です。



### 明治大学 情報コミュニケーション学部 の強み

高度情報社会で  
活躍する  
創造的な人材を育成

#### Point 1 「学域横断」を実現する 多彩な教養・研究科目群

社会科学を中心に人文科学、自然科学の諸分野におよぶ多彩な科目が履修可能です。ワークショップ形式の授業やクリエイティブ科目も充実しています。

▶ 詳細はP.11～12

#### Point 2 問題・課題によってカスタマイズ できる柔軟なカリキュラム

多岐にわたる科目群から、皆さんが立てた問題や課題に沿って科目を選択・履修できる自由度の高いカリキュラム制度を採用しています。

▶ 詳細はP.13～16

#### Point 3 ミッション遂行型現地留学

単なる語学研修を越えたミッション（課題）遂行型の国際交流プログラムを用意しています。

▶ 詳細はP.21～22

# 自分自身で「問い」を立て、 多角的な視点から アプローチする楽しさを学ぶ

## 思考力が鍛えられる “情コミ”のゼミ授業

大学での勉強は講義を聞くだけではありません。自ら課題を見つけ、どのような過程や方法で解決するかという思考力が問われます。本学部では、1年次からゼミナール形式の授業を設け、その力を養います。


### 自分で発見した現代社会の課題を あらゆる方向から見つめ直す

自ら「問い」を発見し、多角的な視点からアプローチを試みつつ、積み重ねた知識を再構成して結論を導き出すというノウハウは、大学で時間をかけるからこそ培うことができるものです。情報コミュニケーション学部では、基礎を養う時期である1年次からゼミナール形式の授業が用意されており、4年間で基礎・問題発見・問題分析・問題解決と段階的に学ぶことができるようになっていきます。▶P.17

根橋ゼミの研究テーマは多文化共生・異文化間コミュニケーション。近年、経済活動に伴う人の流れは国境を越え、ますますダイナミックになっています。自国を離れて働く人々と元々その土地に住む人々がともに生活する中、心の壁を取り払い、より豊かな多文化共生社会を構築するために何をすべきか。その答えを様々な活動を通じて、多様な視点で探っていきます。活動内容は外国人

集住地でのフィールドワークや、ヒューマンライブラリーの開催、米国の大学のコミュニケーション学部の学生とのオンライン交流等。学内にとどまらず、アクティブに外ともつながる活動を通じて学びが深められています。

大学へ入学するまで、多くの学生が暮らしてきたのは、同年代・同地域の人々に囲まれた、同質性の高い環境です。一方大学は、様々な地域から来る友人や、他学年の先輩・後輩、他の国から来日した留学生たちと交流できる場。物の見方や考え方の異なる人々と出会う環境です。中でも、ゼミでは自分と異なる考えや意見を交わせます。異文化間コミュニケーションや多文化共生と聞くと、多文化を知る・理解することをイメージしがちですが、「自文化を知る・尊重する→相手文化を知る・尊重する→相手文化に自文化を知ってもらう」というプロセスが重要。この考えのもと、実施されている根橋先生のゼミでは、単に相手を理解しようとするだけでなく、自分を知り、自分を知ってもらえるように発信する、そんなコミュニケーション力を養います。

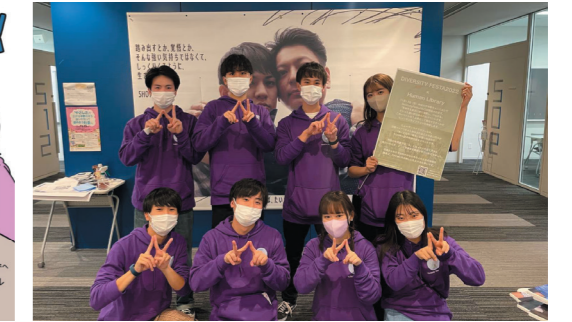


**MESSAGE** 根橋 玲子 教授

コロナ以前の私たちの社会は、経済活動に伴う活発な人の流れが当たり前のようにあり、その流れは国境を軽々と越えたと信じていました。コロナや様々な地域で発生している紛争は、図らずも私たちの社会が、このような流れを簡単に止められること、そしてミクロ・マクロの視点で容易に分断されることを露呈しました。しかし同時に分断があってもなお、人々は国を越えてつながっていることも明らかにしたと思います。日々移りゆく社会のあり方を、本学部で様々な視点から見つめ、豊かな学びを手に入れてください。

**PROFILE**

米国ミシガン州立大学大学院卒業。Ph.D. (コミュニケーション学)。専門は異文化間コミュニケーション・多文化共生。立教大学・東海大学を経て2004年より明治大学情報コミュニケーション学部准教授、2013年同教授。文化背景の異なる人々がともに働き・暮らす社会に関心を持ち研究・教育活動に従事。



左)ゼミでは、対話を重視しています。ゼミ生同士、他大学の学生やゲストスピーカー、フィールドワークやヒューマンライブラリーなどの活動では学外の人々ともつながります。中央、右)ヒューマンライブラリーは、多様な背景を持つ人々を「本」に見立て、少人数で対話することにより、「読者」として「本を読む」イベントです。

## STUDENT VOICE

### 様々な価値観に寄り添うことが 他者を思う想像力につながる

3年  
内田 日奈子

神奈川県  
私立捜真女学校高等学校  
卒業



根橋ゼミでは、新大久保へのフィールドワークや、インターナショナルスクールの生徒・留学生との交流など、自分とは異なるバックグラウンドを持つ人々とかかわれる機会が多々あります。固定観念を捨て、様々な人の価値観や人生観に寄り添い、社会では多様な人々が支え合いながら生きていくことを実感しました。この経験を通じて磨かれた他者を思いやる想像力は、授業

やサークル、バイト先などチームワークが求められる場面で役立っています。特に大切にしているのは言葉選びです。無意識に自分の価値観を押し付けよう心掛けています。今後、社会に出ると更に様々な人とかかわる機会が増えるはず。その際にも常に想像力を働かせ、相手への配慮を忘れず、私とかかわるすべての人にとって、安心してかかわれる存在を目指したいです。

## PICK UP 注目授業

### フジテレビ×情報コミュニケーション学部の メディアリテラシー講座「映像表現論」

テレビ番組制作を通じてメディアリテラシーを実践的に身につける「映像表現論」では、撮影方法や取材の段取りを学んだあと、学生たち自ら取材の交渉やインタビュー、撮影を行いVTRを制作します。フジテレビの湾岸スタジオではプロのスタッフの指導のもと、撮影機材などを使って番組を収録。学生たちはキャスターとして出演するだけでなく、番組やスタジオの進行を指示するディレクター、カメラ操作など役割分担し、番組を完成させていきます。



### 番組作りという貴重な経験を通じ 様々な場面で生きる発想力や 並行思考力が身につきました

3年  
佐藤 美桜里

埼玉県立  
浦和第一女子高等学校卒業



この授業では半期という長い時間をかけて、テレビ番組の特集コーナーの制作を体験します。取材先の選定から編集まで何度も話し合い、試行錯誤の末に自分たちの力でやり遂げました。より良い番組を作るためには全員がアイデアを出すことが重要。柔軟な発想で意見を出し、他者の意見を受け止め、良い点を組み合わせることで最良の案を生み出せました。こ

の力は他の授業でのグループワークや就職活動でも活かしています。また、収録では並列思考力が養われました。生放送には失敗がつきものです。収録の残り時間と現状を把握し、臨機応変に動くのは非常に難しかったですが、今後の糧となる貴重な経験になりました。この授業で得た力を活かし、様々な人と協働できる社会人を目指します。

# 大きな課題に対して、 できることを考え、実践し、 SDGsに貢献する

## 神保町 コーヒープロジェクト

社会課題を解決するため、学生たちにできることは何があるでしょう。島田ゼミでは、独自のコーヒー文化を持つ神保町の魅力の発見・発信を通じて、「街づくり」と「SDGs」に取り組んでいます。

### コーヒー商品の開発を通じて、 途上国の貧困と街づくりに向き合う


社会にSDGsが浸透する中、島田ゼミが挑むのは「神保町コーヒープロジェクト」。2020年新型コロナウイルスですべてがオンラインになる中で、できることを模索しながら開始した、途上国のコーヒー生産者の生活改善と神保町の街づくりを目指す取り組みです。Think Globally, Act locallyの実践として、「途上国の貧困」と「街づくり」という2つの社会課題に取り組んでいる点がポイントです。神保町を対象にしているのは、この地域が古書街として有名でアマゾンや電子書籍の台頭といった経済のデジタル化によって大きな影響を受ける可能性があるからです。また神保町は古くからある喫茶店と現代的なカフェを備える多様なコーヒーの楽しみ方を提供できる場所でもあります。

プロジェクトでは、学生たちは遠く感じられる世界のことと、目の前の社会課題の両面に向き合っています。議論を重ね、コーヒーと書店の相乗効果を考慮した新たな街づくりについて提案。

同時に、途上国のコーヒー生産者に寄り添ったコーヒー取引のあり方も調査し提案しています。神保町に本社のあるコーヒー会社の協力を得てコーヒーの商品開発を行い販売しています。昨年は売り上げ30万円を生産地に寄付しました。

これまで、商品開発の他に、フリーペーパーやSDGsコーヒーマップなど神保町とコーヒーの魅力を明治大生視点で発信するツールも制作。SDGsコーヒーマップでは、フェアなコーヒーを取り扱っている神保町のお店を紹介しました。また世界食料デーには食品ロスの削減を目的とし、閉店時間がせまるパン屋で売れ残りそうな商品を仕入れて販売しました。廃棄されていたかもしれないパンを美味しく食べてもらうことが、食品ロスについて考えるきっかけになることを願った取り組みです。

プロジェクトを通じて、学生たちに身につけてほしいのは社会課題を解決する力。国際社会や地域社会に対する視点を広げ、社会のために役立ててほしいと思います。



**MESSAGE** 島田 剛 教授

情報コミュニケーション学部の特徴は「課題解決型」であり「学際的」であることです。現場に近くなればなるほど、一つの学問だけでは問題を解決できません。途上国の医療は病院を作るだけでは解決しません。道や橋がなければ病院に行けず、そのためには資金も必要になります。医学など一つの学問だけではなく、多くの学問の専門知識を突き合わせて問題を解決する学際的な取り組みが必要になってきているのです。そうした学際的な学びを一緒にしましょう。

**PROFILE**

博士(学術、早稲田大学)。JICA(国際協力機構)、国際連合日本政府代表部一等書記官、静岡県立大学国際関係学部准教授、コロンビア大学客員研究員、世界銀行およびアジア開発銀行コンサルタントなどを経て2018年より明治大学情報コミュニケーション学部准教授、2023年同教授。

## STUDENT VOICE

3年  
山下 桜綾  
神奈川県立  
横浜平沼高等学校卒業



### ゼミで培った主体的な姿勢を 更なる成長につなげる

島田ゼミでは、途上国のコーヒー農園労働者が貧困に苦しむ現状を変えるために、スペシャルティコーヒーの商品開発・販売に取り組んでいます。ゼミでは議論において自分の意見を持つことや、議論を踏まえて実際の行動を起こす積極性が求められました。活動を進めていく中で、主体的に動く姿勢が

身についたと感じます。ゼミでは学外に出て学べる機会も多いのですが、その機会を逃さず積極的に参加することで、新たな学びや出会いによって視野を広げ、自身の成長につなげることができました。社会人になってもこの姿勢を持ち続けるとともに、好奇心を忘れず日々進歩し続けたいです。



御茶ノ水ソラシティで商品開発した明治大学SDGsコーヒーを販売



上) 島田ゼミ生の集合写真  
下) 商品開発したコーヒー

## PICK UP

### 注目授業

#### 世界各国から研究者を招へいして行われる オムニバス講義「世界のキャンパスから」

この授業では、世界各地の様々な大学で最先端の研究を行っている新進気鋭の研究者を招き、本学部の教員がコーディネーターとなって分かりやすく研究内容を紹介します。授業テーマは、メディア・音楽・ジェンダー・スポーツ・政治・ファッション等、分野を越えて多岐にわたります。この

授業を受けることで、皆さんは世界の様々なキャンパスで、いったい何が問題として研究され、どのような授業が行われているのかを、日本にいながらにして知ることができます。興味を持った分野を本学部で極めるのも良いし、授業で出会った研究者の下へ留学することも良いでしょう。



教員と学生による座談会

# 多種多様な分野が相互につながりあうことで、主体的に深めたいくなる学際的な学びの場

多様な分野の学びが集う情報コミュニケーション学部。  
 学生の自主性を尊重する自由度の高いカリキュラムも大きな特長となっています。  
 その魅力・環境・学びなどについて学部長をはじめとする教員と学生たちが語り合いました。



## 「学際性」と「多様性」の2つを重視し現代情報社会における課題を考える

—まず情コミの学びの概要をお話いただけますか。

**阿部**：情コミの教育と研究を支えるのは、「社会の今をとらえ、多様で学域横断的なアプローチ」「創造」「表現」という3つの大きな柱です。具体的なカリキュラムはこの3つの柱に沿って展開されており、多様な最先端の研究紹介に始まり、学びの基礎を固めつつ、段階的に学際的なアプローチの実践を可能とするカリキュラム設計となっています。

学生一人ひとりが興味関心にもとづき学べる自由なカリキュラムと、研究対象が複数の学問領域に横断している点に学部の魅力があります。基幹的な科目を中心に学際的な学問領域を段階的に学ぶことで自らの問いを発見し、一定の解を与えるために履修科目をカスタマイズする。その過程をさらに補強するために、全学年に設置されたゼミナール科目を効果的に利用することで成り立つ「重層的な学びの場」を提供できるのが本学部の特徴です。

## 多彩な授業や自由なカリキュラム分野横断的な学びに惹かれて入学

—情コミを志望した理由や、現在の学びの内容について教えてください。

**高原**：授業の多彩さに惹かれて入学しました。情コミでは、法律、脳科学、心理学、プログラミング、数学、統計、文化論…数え切れない分野の学びに触れることができます。知識欲旺盛な自分にはぴったりの学部だと思いました。

**米納**：高校時代に映像(映画)・演劇に興味があり、一時期専門学校に通うことも検討していました。そんな中、出会ったのが情コミでした。民放の会社と映像を共同制作できるユニークな授業があったこと、多様な進路選択ができる点を魅力に感じ、志望しました。

## 4年間のゼミナール教育が見識に広がりを持たせ、専門性を深める

—皆さんが考える情コミの魅力についてお聞かせください。

<p><b>阿部 力也</b> 学部長</p>  <p>研究テーマ：「犯罪と法」をめぐる重要論点の分析                  担当科目：犯罪と法、現代型犯罪と刑法</p>	<p><b>横田 貴之</b> 教授(司会進行)</p>  <p>研究テーマ：中東・イスラム研究—現代中東とイスラムから異文化と世界を学ぶ                  担当科目：多文化と相互理解、地域文化論</p>	<p><b>高馬 京子</b> 教授</p>  <p>研究テーマ：クリティカル・ファッション・スタディーズ：メディアにおいて構築/伝達されるファッション(服飾流行)とジェンダー像                  担当科目：超域文化論、地域文化論</p>	<p><b>鈴木 雅博</b> 准教授</p>  <p>研究テーマ：学校の社会学                  担当科目：情報社会と教育</p>	<p><b>山内 勇</b> 准教授</p>  <p>研究テーマ：イノベーションの経済学                  担当科目：情報社会と経済、情報産業論</p>
<p><b>WEB 座談会 全文紹介ページはこちら</b></p> <p>大学のHPでも閲覧可能です。</p> 		<p><b>演野 真咲</b></p>  <p>3年 山内ゼミナール所属 八王子学園八王子高校卒業</p>	<p><b>米納 愛華</b></p>  <p>3年 高馬ゼミナール所属 富山高校卒業</p>	<p><b>高原 渉</b></p>  <p>2年 清水ゼミナール(春)・鈴木雅博ゼミナール(秋)所属</p>

**高馬**：カリキュラムの自由度や学べる分野の幅広さ、それに加えてゼミ教育が充実している点も魅力です。1年次で基礎ゼミに所属し、2年次では自分なりの現代情報社会への問いを立てる。3年次ではその課題を分析し、4年次では解決を目指す。4年間同じ先生につくのではなく、1・2年次は様々な先生方の指導を受けることで、その分野の手法や考え方を学ぶなど、見識を広めることができます。あるいは専門的に掘り下げることも可能です。

**米納**：私は1年次から学部独自の英語プログラム、SPICEを受講していますが、そこでも情コミの持つ多様性を実感します。授業中に英語で社会問題について話し合う機会が度々ありますが、学生の所属するゼミによって扱うトピックが毎回異なり、興味深いです。都市や交通に詳しい学生もいれば、英語のテキストや文脈を日本語と比較して違いを説明してくれる学生も。各々のゼミの専門性を活かした話し合いの場を楽しんでいます。

## 大学の学際研究の発信拠点として 気持ち新たに20周年を迎える

—先生方にご質問です。学部の、あるいはご自身の今後の展望について教えてください。

**高馬**：情コミでは、学部の学びとつながる形の留学制度も充実しているので、皆さんには積極的に活用してもらいたいです。また、留学の前段階として、外国の先生を招き、日本にいながらにして海外の大学の授業がどういったものか肌感覚で学ぶような授業も実施しました。こうした「段階的な国際」という取り組みにも注力していきます。

また、本学部が全学の中でも早期から取り組んでいるものの一つに「アクティブターム」(※)という授業方式があります。たとえばこれをもっと活用すれば、より学生の皆さんが集中して勉強できるようになる。空いた期間を留学に充てることもできるでしょう。

**山内**：産業とのつながりも大切なポイントです。私のゼミでは学生が企画開発したものを学園祭、キッチンカー、カフェで売るといった活動も行っています。こうした経験は、将来ビジネスの世界に身を置いたときに必ず生きると思うのです。

**阿部**：情コミは2024年に創立20周年を迎えます。明治大学における学際研究の発信拠点として、今後10年20年継続できる

ような枠組みをつくりたい。アクティブタームや国際的な取り組みの充実はもちろん、情コミを代表する特色あるイベントも継続していきます。

※「アクティブターム」では、通常授業よりも短い期間で学ぶことで、修得度向上や、空いた時間を留学等の活動に活用することを目的としています。

## 軸となる学びを大切に 自分なりの情コミ学を描く

—学生の皆さんは、情コミで培った力を今後どのように活かしていきたいですか。

**高原**：「人間」をテーマに研究できればと考えています。情コミの学びに触れる中で多角的な視点が養われ、自分がどんな人間で何に向いているのか客観視できるようになったと感じています。「今後どう生きるか」という人生の指針も立てられた気がします。

**演野**：卒業後も情コミを通して身につけた多角的な視点を活かしたいです。卒業まであと1年、これまでの学びをさらに深めていきます。

—最後に、情コミを志望する学生の皆さんへメッセージをお願いします。

**演野**：1年次から様々なゼミに所属することができ、多様な意見に触れて視野を広げられるのが情コミの魅力。ここでの学びをきっかけに自分の興味関心を広げていきたいと思います。

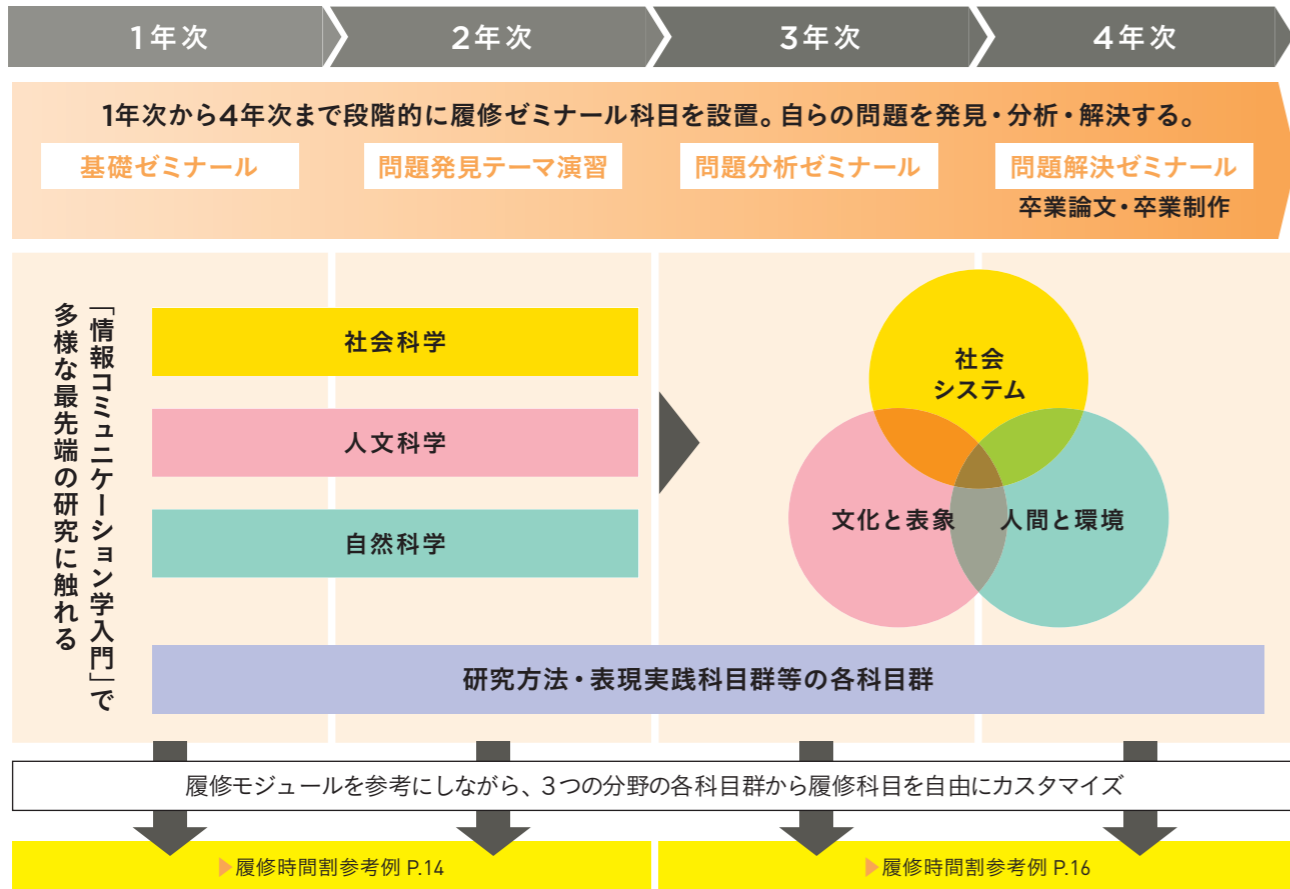
**鈴木**：高校まではある種準備された学びの中で、課題をこなすことが多かったと思います。しかし、大学、とりわけ情コミにおいては学びをすべて自分でカスタマイズしなければなりません。興味を持って、様々な分野から収穫を得られますが、何事にも興味を持たなければ何も得ることができません。どんなことでもよいので、物事に興味を持つ姿勢を高校時代から養っておくことが大切だと思います。

**阿部**：学生一人ひとりが4年間を振り返ったときに、それぞれの「情コミ学」ができあがっていればよいですね。意欲と知的な関心度が高ければ高いほど、応えてくれるのが情コミの学びだと思います。ぜひ自分の軸となる学びを見つけて、主体的に学びを深めていってください。

# 自らカリキュラムをカスタマイズし、問題を発見・解決する4年間

高校時代と違い、大学での学問・研究は主体的なものです。

人から強制されたり上から押し付けられたりするような学習は大学の本来の学びとは無縁のものです。本学部は皆さんの主体性を最大限に尊重し、また伸ばすことを目的としたカリキュラムを組んでいます。



## 3つのポイント

- 特長 1** 学際的学問分野を段階的に

1年次に専任教員がオムニバス形式で授業を行い、多様な研究分野を紹介する「情報コミュニケーション学入門」を、3年次には様々なテーマに基づき専門家を招へいし、オムニバス形式で授業を行う「情報コミュニケーション学」を設置することで、情報コミュニケーション学という学際的学問分野を段階的に学習できるようにしています。
- 特長 2** 履修科目のカスタマイズ

本学部のカリキュラムは『専門科目群』『研究方法・表現実践科目群』の2つが柱となり、それぞれを学部の特長的な科目によって構成しています。入学後、学問・研究の基礎を身につけながら、「履修モジュール」を参考にして自身の興味・関心のあるテーマに沿った履修科目を自由にカスタマイズしていきます。
- 特長 3** 全学年にゼミナール科目を設置

1年次から4年次までのすべての学年にゼミナール科目を設置し、問題の発見から解決までの過程を自ら主体的に学べるようにしています。

## [カリキュラム体系図]

	1年次	2年次	3年次	4年次
ゼミナール科目群	基礎ゼミナール	問題発見テーマ演習 A・B	問題分析ゼミナール I・II	問題解決ゼミナール I・II 卒業論文・卒業制作
学際科目群	情報コミュニケーション学入門 A・B			情報コミュニケーション学
社会科学	家族社会学概論 ジェンダー論 情報倫理 マクロ経済学	環境と社会 市民社会と法 I・II 政治学 ミクロ経済学	経営学 憲法 A・B 社会心理学 A・B 犯罪と法 I・II 法学	憲法 A・B コミュニケーション論 情報社会と経済 犯罪と法 I・II 法学
人文科学	異文化理解 新興国事情 地理学 比較文化(基礎) A・B	英語文学 A・B 心理学 A・B 哲学 メディア批評	外国文学 生命論 A・B 東洋史概論 歴史学	言語学 宗教学 小集団コミュニケーション 地域文化(基礎) 地誌学 日本文学 パブリック・スピーキング
自然科学	科学技術史 人類学 A・B	環境生物学 地球環境科学	情報科学 脳科学	情報検索論
社会システム				イノベーションの経済学 NPO論 現代型犯罪と刑法 I・II 国際経済論 A・B 社会福祉学 A・B ビジネスと法 A・B
文化と表象				現代アメリカ政治論 現代行政と法 A・B コネクトがイノベーションを創る 国際開発論 国際関係論 I・II ジェンダーと法 A・B シンガポール・メディア I・II 社会思想史 情報政策論 A・B 情報法 A・B 知的財産法 A・B 犯罪社会学 メディアの歴史 メディア論
人間と環境				アート・マネジメント 観光コミュニケーション 近・現代史 I・II 社会文化史 スポーツ・ジャーナリズム 地域文化論(スペイン) 地域文化論(スウェーデン) 地域文化論(中国) 地域文化論(朝鮮) 地域文化論(イスラム) 超域文化論 日本文化論 A・B 倫理学
外国語科目群	English Skills A1・II (基礎 中級 上級) English Skills B1・II (基礎 中級 上級) Speech & Debate A・B	ドイツ語 A1・II フランス語 B1・II 中国語 A1・II 韓国語 B1・II	Critical Reading Critical Discussion Critical Writing A・B	English Seminar I・II 英語コミュニケーション I・II 英語音声学
研究方法・表現実践科目群	(情報リテラシー科目) ICT データベース I・II ICT アプリ開発 I・II ICT データ解析 I・II ICT 統計解析 I・II ICT メディア編集 I・II ICT ネットワーク技術 I・II・III	演劇学 クリエイティブ・コミュニケーション 身体コミュニケーション A・B メディア・アート	デジタルアート A・B デジタルプレゼンテーション 非言語コミュニケーション メディア教育論	アルゴリズム実習 I・II ネットワーク技術 IV
海外留学科目群	国際交流	留学関係科目(語学・実習) A	留学関係科目(語学・実習) B	留学関係科目(講義) A 留学関係科目(講義) B
その他	ウェルネス科目群 キャリアデザイン科目群 情報リテラシー科目群 総合講座	ウェルネス A・B キャリアデザイン ICT ベーシック I・II	ウェルネス・スポーツ A・B インターンシップ入門	ウェルネス・スポーツ C・D 実践キャリア支援講座 総合講座 A～D

※ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語・タイ語の中から1か国語(ただし、外国人留学生については日本語)を選択

## PICK UP

### 英語コミュニケーション能力特別強化プログラム

「SPICE」

情報コミュニケーション学部では、国際社会に対応できる言語力とコミュニケーション能力を身につけた学生を育成するために、独自の特別英語クラスである SPICE (Special Program for Information & Communication in English) を 2014 年度より設置しました。2013 年度から高校の英語に「コミュニケーション英語」が導入されたように、単なる会話以上の内容を議論できる能力が求められています。SPICE は、20 人以下の少人数選抜クラスで、英語でコミュニケーションができる学生を養成します。このプログラムを通じて、グローバル化時代において世界で活躍できる人材の育成を目指します。

コミュニケーション能力重視・内容中心 (content base) の授業

英語で「スピーチ」「ディベート」「ディスカッション」ができるようになるためのトレーニングを行います。会話のためのコミュニケーションに限らず、専門的な学問を「英語」で理解するための講義も用意しています。

経験豊かな教員陣

選抜された少人数の学生に向けて、ネイティブ・スピーカーや海外留学経験のある教員が実践的な授業を行います。授業だけでなくホームワークを効果的に取り入れて、自習時間の指導にも力を注ぎます。



SPICE の紹介はこちら



短期・長期留学に関するアドバイスなども提供し、海外を目指す学生をサポートします。

# 多様な研究の最先端を知り、問題を発見する

「情コミ」には、様々な研究分野をテーマにしている専任教員が多数在籍しています。1年次は、「情報コミュニケーション学入門」を履修し、各回交代で登場する専任教員の専門的な視点からの講義を受講します。現代社会の様々な問題に関する多彩なアプローチの仕方を垣間見ることは、自らが探究する研究を設定するうえで、大きな道標となります。講義科目では、「社会科学」「人文科学」「自然科学」という大きく3つに分類された科目群から、自らが興味・関心のある科目を選択することができます。また、選択必修外国語（英語以外の外国語）教育

は、言語（語学）を通じて異文化を知り、それを尊重するということを目的としています。そのための講座を「演習」科目として設定してあります。「情コミ」は、ゼミナール教育にも力を入れています。1年次には「基礎ゼミナール」が設けられ、ここで、論理的思考、資料の収集・分析、論文・レポート、プレゼンテーション等の基礎を修得します。2年次には「問題発見テーマ演習A・B」が設置されており、ひとつのテーマについて集約的な議論や輪読、また、フィールドワークや作品制作などを少人数で行い、研究を達成するための能力を育成します。

## 履修モジュールとは

本学部では、1年次から段階を経て学際的知識を修得することが可能となるカリキュラムを設けてあります。卒業要件の124単位のうち、専門科目群に関しては、選択必修科目として64単位以上を履修する必要があります。1・2年次では「社会科学」「人文科学」「自然科学」の[3フレーム]から計10単位（社会科学フレームから4単位、人文科学フレームから4単位、自然科学フレームから2単位）以上を、3・4年次では、残りの履修単位を勘案して、「社会システム」「文化と表象」

「人間と環境」の3つのフレームから自由に履修することができます。学生は自己の問題関心に従い、主体的にカスタマイズした科目履修が可能となります。

わたしたちは、それを支援するために研究課題・問題意識を具現化した[履修モジュール]というものを用意しました。もちろん、この[履修モジュール]は例示でしかありません。学生はそれを参考にして、履修科目を自由にカスタマイズすることができるわけです。

### 履修モジュールの一例

テーマ	1・2年次	3・4年次
現代社会における企業に倫理は求められるか	経営学/組織論/社会心理学A・B/社会学A・B	組織コミュニケーションA・B/組織と情報/不確実性下の人間行動/倫理学/コーポレート・ガバナンスI・II
表現することと社会・政治・法の間を調べる	メディア・リテラシー/政治学/市民社会と法I・II/社会学A・B/小集団コミュニケーション	情報社会論A・B/現代型犯罪と刑法I・II/知的財産法A・B/情報法A・B/個人と国家/組織と情報/ビジネスと法A・B
「芸術(アート)」と「コミュニケーション」が交差する世界を探究しよう	美学・芸術学/身体コミュニケーションA・B/音楽論/メディア・アート	音楽表現論/身体表現論/映像表現論/造形表現論/メディア教育論/デジタルアートA・B/アート・マネジメント
日本の国際社会における将来を隣国との関係から考える	日本史概論/東洋史概論	異文化コミュニケーション史/国際関係論I・II/社会文化史/近・現代史I・II/地域文化論
メディアにおける都市のイメージを分析する	社会学A・B/異文化理解/地誌学	都市情報論/人文地理学/広告論/メディアの歴史/記号論
「いのち」の観点から人間と社会を考える	生命論A・B/社会学A・B/家族社会学概論/哲学/組織論	生命思想史I・II/倫理学/科学技術と人間

## 情報コミュニケーション学入門

「情報コミュニケーション学入門」では、本学部教員が執筆・編集した『情報コミュニケーション学への招待』（ミネルヴァ書房、2022年）をテキストとして活用し、オムニバス形式で担当教員がそれぞれの専門的視座から現代社会の諸問題について講義します。

今後の社会で生じる問題は、より一層、複雑で多岐にわたることが予想されます。このような社会を理解し、積極的にかかわっていくには、広い視野で状況をとらえ、様々な領域にまたがる知を協働して問題に取り組むことが重要です。この講義を通じ、自ら問題を設定し、学域横断的な視点・アプローチで問題に取り組むための力を養うことを目的としています。

### 「情報コミュニケーション学入門」で行われた授業テーマ(一例)

タイトル	担当教員
【生活から社会を解き明かす】 つながる私たち：恋愛、結婚と家族のあり方	施利平
【生活から社会を解き明かす】 現代の罪と罰—法律学を学ぶためのプレリユード	阿部力也
【文化から社会を考える】 舞踊の国際研究から共創へ—琉球・韓国の比較舞踊学	波照間永子
【文化から社会を考える】 イスラームから読み解く政教関係	横田貴之
【コミュニケーションから世界を読む】 おとなりさんは外国人—多文化共生と異文化コミュニケーション	根橋玲子
【コミュニケーションから世界を読む】 組織やコミュニティにおける監視—「見張り」と「見守り」	竹中克久

## STUDENT VOICE

1年

多様な学生との交流や複数分野の学びを通じ多角的な思考力が磨かれました



薄井 里彩子

埼玉県立浦和第一女子高等学校卒業

Q 情報コミュニケーション学部を選んだ理由は？

Answer 文系理系の枠組みにとらわれず、幅広い分野について学びたかったからです。また、中学英語の教員免許の取得を目指しているため、英語教育が充実している点にも惹かれました。他学部より必修科目が少ない分、時間割の組み方の自由度が高く、教職課程に必要な科目と興味のある科目を同時並行で学べるのも情コミの魅力だと感じます。

Q 印象に残っている授業を教えてください。

Answer 竹中先生の基礎ゼミナールはグループワークを通じ、身近な社会問題の解決策を考える授業。関心事の異なる多様な学生が集まる情コミだからこそ、刺激的な議論ができます。引き出しが増え、多角的な思考力が鍛えられました。また、社会問題を向き合うことで、様々な課題に対し、当事者意識を持てるようになったと感じます。

Q 将来の目標や目指す進路は？

Answer 教職課程で学んだことを活かし、教育に携われる仕事に就きたいです。情コミならではの多くの分野の知識を習得できる環境を存分に活用し、一つのプロジェクトや課題に対して様々な方法でアプローチできる人を目指します。また、英語学習にも一層注力して、国内外の文化や生活を経験する機会を持つことも目標の一つです。

## STUDENT VOICE

2年

学際的な学びから得た幅広い知識を活かし、世の中に感動を届けられる存在に



木口 渉

神奈川県立小田原高等学校卒業

Q 情報コミュニケーション学部を選んだ理由は？

Answer 情報コミュニケーション学部に興味を持ったのは担任の先生の勧めがきっかけです。受験勉強を始めた際には明確な目標が決まっていなかった私にとって、一つの分野にとらわれず、学際的に学べる点や、履修の自由度が高い点が非常に魅力的でした。期待通り、様々な分野について学びながら、自分らしいキャンパスライフを送っています。

Q 印象に残っている授業を教えてください。

Answer インターンシップ入門が印象に残っています。様々な業界で活躍されている方が講師として登壇される授業です。第一線で働いている人の考えや思い、それぞれの職種の実情を知ることができ、非常に面白かったです。回ごとに異なる職種の方のお話をお伺いできるので、自分の将来を見つめ直すきっかけにもなりました。

Q 将来の目標や目指す進路は？

Answer 卒業後の目標はアナウンサーになることです。報道の現場ではジャンルを問わず、数多くの分野の知見が求められます。この学部で得られる学際的な知識は、ニュースはもちろん、スポーツ実況やバラエティーにも活きるはず。勉学に励み、様々な経験を積んで、情報だけでなく、感動を世の中に届けられる存在になりたいです。

### [1年次の時間割参考例]

科目名の上段は春学期、下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1	-	異文化理解 人類学B	基礎ゼミナール 基礎ゼミナール	English Skills AI English Skills AII	教職入門 -	-
2	中国語AI 中国語AII	-	-	英語文学A 教育基礎論	憲法A 憲法B	-
3	-	特別支援教育	English Skills BI English Skills BII	教育心理学 言語学	比較文化(基礎)A 比較文化(基礎)B	-
4	-	中国語BI 中国語BII	ICTベーシックI ICTベーシックII	-	日本語表現I 日本語表現II	-
5	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-

メディア授業科目：情報コミュニケーション学入門、心理学  
※「メディア授業」…PC等を利用し、授業の一部もしくは全部を教室以外の場所で受講できる授業。

### [2年次の時間割参考例]

科目名の上段は春学期、下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1	-	異文化理解	-	-	-	-
2	-	家族社会学概論	メディア・アート	情報科学	-	-
3	-	ミクロ経済学	-	政治学	-	-
4	市民社会と法I 市民社会と法II	インターンシップ入門	社会調査法B	-	-	-
5	-	-	-	人類学A 人類学B	社会心理学A 社会心理学B	-
6	-	-	-	-	-	-



## 問題を分析し、解決する

3年次以降に学習できる科目は多岐にわたりますが、必修科目はありません。「社会システム」「文化と表象」「人間と環境」と大きく3つに分類された科目群の中から、自己の興味・研究目的に合致した科目を履修すれば良いのです。時には何から学んで良いか分からなくなるかもしれません。そのために、履修モジュールを策定しています。この履修モジュールは、授業科目間の関係性を明確にし、授業選択のガイドラインの役割を果たしています。3年次からは「問題分析ゼミナール」が開始され、4年次の「問題解決ゼミナール」へと続いていきます。このゼミナールは、各担当教員

の主要担当科目から設定したテーマを学習する中で、現代社会における情報コミュニケーションの意義と機能を踏まえて、問題点のさらに深い理解と洞察力を養うことを目的としています。4年次の「問題解決ゼミナール」の中には卒業論文作成を目的としたゼミナールもあります。それを選択した学生は「卒業論文・卒業制作」という科目を履修し、情コミの4年間の集大成として卒業論文や卒業制作に取り組むことができます。また、1年生も参加できる「研究交流祭」は、各ゼミの研究・活動成果を発表、聴講を通して情コミの学際性を体感できる場です。

### 2023年度 研究交流祭 ブロック最優秀賞

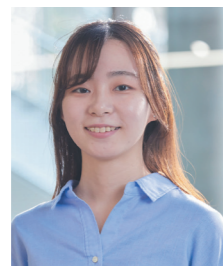
発表テーマ	学年
主観的幸福度に関する調査	3
ギャル語（若者言葉）について	4
フィクション作品における役割語の日英比較	4
野沢温泉における日本人向け最適プランについて	4
恋愛と主観的幸福度の関係について	3
死の再定義とその未来	1
インバウンド	4



研究交流祭の開会式と発表の様子

### STUDENT VOICE

4年  
岩下 未紀  
埼玉県立  
蕨高等学校卒業



### 多彩な学びによって培われた 柔軟な思考力と多角的な視点が生きる場

4年間の集大成として、グループ研究の成果をゼミ生以外にも知ってもらいたいと思い、研究交流祭に参加しました。研究を進める中では、ゼミで学んだ知識はもちろん、情コミの幅広い学びによって培われた柔軟な思考力が大いに役立ったと感じます。また、メンバーそれぞれが異なる視点を持っており、多様なアイデアを結集して課題にアプローチできたのも非常に面白かったです。交流祭は普段のゼミと異なり、

専門外の学生に向けて発表を行える貴重な機会。とにかく分かりやすく伝えることを意識して、資料作成や発表を行いました。当日は多岐にわたるテーマの発表を聴くことができ学際的に学べる情コミの魅力を実感するとともに、多くの新たな考え方に触れて刺激を受けました。卒業後も情コミでの経験を活かし、丁寧な情報の伝達を大切にしながら、様々な立場の方をつなぐことのできる社会人を目指したいです。

### [ 早期卒業制度 ]

明治大学情報コミュニケーション学部では、成績が特に優秀な学生を対象に早期卒業制度を導入しています。明治大学大学院情報コミュニケーション研究科をはじめ、そのほか国内外の大学院への進学を希望する学生は、3年次終了時に大学卒業資格(学士)を得て、進学することが可能です。

### STUDENT VOICE

3年

### 様々な要因が絡み合った 社会問題の本質を 多角的に捉え、 分析・解決する



北山 卓弥

茨城県立古河中等教育学校卒業

#### Q 情報コミュニケーション学部を選んだ理由は？

**Answer** 多角的な視点で現代社会を捉え、問題を分析・解決する実践的な能力を育みたいと考え、進学しました。社会問題はいくつもの要因が密接に絡み合って生じている、非常に複雑なものです。多分野の学びに親しむことができる情コミは、物事を表面的に捉えず、深く考え本質を見つめる力を養える環境だと思います。

#### Q 印象に残っている授業を教えてください。

**Answer** 現代政治学Iでは、昭和・平成の日本政治について理解を深め、令和の政治について考えることを目標としています。戦後から現代までの日本政治の変遷を筋道立てて学んだことで、令和の政治が抱える問題を自分なりに発見できました。現代の問題を考える上で過去に目を向けることが重要であることを再認識できる授業です。

#### Q 将来の目標や目指す進路は？

**Answer** 何事においても一つの視点にこだわらず、様々な視点で物事を考えられる人になることが目標です。私は学部での学びを通じて、社会で「常識」とされているものを疑い、核心に迫る力を養うことができたと感じます。どのような道に進んでもこの学部で得た力を大切にし、社会を力強く生き抜いていきたいです。

### [ 3年次の時間割参考例 ]

科目名の上段は春学期、下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1	-	現代行政と法 A・B	-	-	-	-
2	-	-	-	社会福祉学A 社会福祉学B	-	-
3	-	現代政治学I 現代政治学II	政治とメディア	ジェンダーと法 A ジェンダーと法 B	-	-
4	-	問題分析ゼミナールI 問題分析ゼミナールII	マスコミュニケーション論A マスコミュニケーション論B	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-

メディア授業：都市情報論、財産と法I・II、現代アメリカ政治論、人文地理学

### STUDENT VOICE

4年

### 様々な分野の中から 興味と適性のある 学問を見つける ことができる



沼津 春夏

東京都立三鷹中等教育学校卒業

#### Q 情報コミュニケーション学部を選んだ理由は？

**Answer** リベラルアーツなカリキュラムを通じて、社会人としての即戦力を身につけられるからです。多分野での学びから、社会において自分が果たせる役割を見つけたいと考え入学しました。興味の幅が広い私にとっては、自身の嗜好に沿って自由に時間割が組めることは非常に魅力的でした。

#### Q 印象に残っている授業を教えてください。

**Answer** English skills A,B(SPICE)では、様々なテーマについて学際的に英語を用いて学ぶことができます。少人数での開講のため、緊張感のある授業でした。また、インターンシップ入門では、様々な業界で活躍する方のお話を伺うことができます。各企業の事業や社会貢献について学び、理想のキャリアパスを考えるにあたって非常に参考になりました。

#### Q 将来の目標や目指す進路は？

**Answer** 自らが主体となり、世の中に新たな価値を提供することです。学部での多角的な学びを活かし、領域横断的な視点で、新鮮な提案ができる国際的な人材を目指したいと思っています。また、将来的には仕事を通じて専門性を身につけ、それを活かし国際社会における日本の存在感を高められるサービスを生み出したいです。

### [ 4年次の時間割参考例 ]

科目名の上段は春学期、下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-
3	情報法B 不思議現象の心理学	情報社会論 A・B	-	問題解決ゼミナールI 問題解決ゼミナールII	-	-
4	ジェンダー・マネジメントI ジェンダー・マネジメントII	-	-	情報法A	-	-
5	-	-	-	-	社会心理学A 社会心理学B	-
6	-	-	-	-	-	-

メディア授業：情報政策論I、外国文学、政策過程論

# ゼミナール教育で得られる 情報コミュニケーション学部の醍醐味



ゼミナール（略称「ゼミ」）では、10～15名程度の比較的少数の学生がひとりの教員とともに、通常の大教室の授業では得られない双方向のコミュニケーションをとりながら学んでいきます。大学で学ぶことの初歩から専門的分野、資料の読み方や議論の仕方、レポート・論文の作成、プレゼンテーションまで幅広く、学んでいきます。大学における「学び」の醍醐味が得られるのがゼミなのです。本学部では、1年次から4年次まで段階的に履修するゼミナール科目を設置しています。1年次は基礎ゼミナール、2年次には問題発見テーマ演習、3年次には問題分析ゼミナール、4年次には問題解決ゼミナールが置かれています。3・4年次は2年間一貫して同一のゼミを取る必要があります。

## ■ 学年ごとに所属ゼミを変えた場合

様々な分野を学び、  
自分の興味が  
明確化されました

3年  
草野 愛美  
東京都立  
立川高等学校卒業



●なぜ、学年ごとに異なるゼミを選択しようと思ったのか教えてください。

大学では様々な学問を学び、視野を広げたいと考えていました。イスラームの文化や宗教に関心があったため、1年次は横田先生のゼミを選択。ゼミ以外では心理学や芸術学を中心に履修しました。2年次前期で平成の社会文化を学ぶゼミに所属したのは、1年次に学んだことと全く異なる分野に触れたかったからです。また、2年次では前期と後期で異なるゼミを選べる制度を活用。後期から大学に入るまで知らなかった言語学に挑戦しています。

●学年ごとに異なるゼミに所属して、よかったことは何ですか。

1年次のゼミで異文化を学び、様々な立場に立って正義について考えたことで多角的な視点が身につきました。この視点が、その後、他のゼミで学んだ事柄に対するより深い理解につながったと感じます。また、様々な分野を学んだことで、自分の興味が明確化されました。元々ファッションは好きでしたが、川島ゼミで平成のファッションについて研究したことで、より深めたいと思うように。卒業後は服飾系の専門学校に進学する予定です。

1年次

横田 貴之ゼミ

「中東・イスラームから異文化を読み解く」

2年次前期

川島 高峰ゼミ

「平成の社会文化の30年史」

2年次後期

坂本 祐太ゼミ

「言語学」

3年次

## ■ 4年間、同一ゼミに所属した場合

学びを重ねることで  
物事のつながりに  
気づけるようになりました

3年  
吉田 蒼羽  
埼玉県  
私立川越東高等学校卒業



●なぜ、このゼミを選択しようと思ったのか教えてください。

1番は、竹中先生のもとで学べるからです。先生の講義やフィードバックは非常に面白く、勉強になるため、先生のものの見方や考え方を学びたいと考え、所属を決めました。1・2年次の講義の中で最も興味を持った組織社会学がテーマであることや、ディスカッションができることも選択理由です。情コミではディスカッションの機会が多くあり、意見を交わす面白さを学びました。他者との交流は自分にはない視点や考え方を与えてくれると感じます。

●4年間を通して同一ゼミに所属して、よかったことは何ですか。

物事のつながりに気づくことができるようになったと感じます。一つひとつの学びが自分の身になるのはもちろんですが、ゼミ活動を積み重ねるうちに、過去に学んだことと現在学んでいることがつながる瞬間があり、一気に理解が深まりました。この視点は社会事象の本質を捉え、根本的な原因を探ることに活きると思います。また、多くのディスカッションを通じて、議論を円滑に進めるコミュニケーション能力や発想力が向上しました。

1年次

2年次

3年次

4年次

竹中 克久ゼミ 「組織社会学—現代社会を読み解く」

## PICK UP ゼミナール

### 施 利平 ゼミナール

社会学の視点で、  
恋愛・結婚・家族を見つめなおす

施 利平 教授

恋愛や結婚、家族について社会学的に探究し、相対的かつ客観的に考察するゼミナールです。ゼミ生のキャリアデザインやライフデザインに指針を提示し、仕事や生活に役立つ学びを提供します。施ゼミは、学友や教員とのかかわりの中で、自分自身を受け入れてもらえる安心感や、感情や考えを共有できる喜び、成長の実感を得られる場です。学年を超えた交流を重視し、3・4年生と大学院生の合同ゼミも実施します。下級生は先輩の論文の内容を学び、上級生は下級生の発表にアドバイスすることで、相互に高い学習効果を得られます。ともに学問の楽しさを味わい、人生を豊かにする土台を築きましょう。



PROFILE -----  
施 利平：大阪大学で博士号を取得。兵庫県家庭問題研究所勤務を経て、2003年から明治大学に勤務。研究テーマは日本の家族・親族研究、中国の一人っ子世代の結婚と出産、中国の都市化と世代間関係。

### 宮本 真也 ゼミナール

社会学、社会哲学における理論を通じ  
身近な現象を見つめる

宮本 真也 教授

「現代社会と社会理論」というテーマのもとで、私たちが現代において疑問に思う問題について、学生の関心に耳を傾けながら一緒に考えていきます。考え方の基本は、社会学、社会哲学における抽象的な理論ですが、取っつきにくそうに見えて、実は私たちの身近な現象を言い当てたり、説明していることに気づいてもらえるようにしています。これまで「スポーツにおける暴力と指導」、「幸福を生む産業」、「ネットと格差社会」、「教育格差」、「ラジオ番組と現代」、「現代における幸福」などがテーマとして取り組まれてきました。大学でしかできない「分かる」楽しさと喜びを共有できるように努めています。



PROFILE -----  
宮本 真也：専門は社会学、社会哲学。コミュニケーションと社会的承認をキーワードに、社会の発展のダイナミズムとそれに付随して生じる社会的な病理に関心があります。社会は進歩しているはずなのに、どうして生きづらいついのか、どうして生活が苦しい人々がいるのか、ジェンダーやセクシャリティ、生き方をめぐって、どうして私たちはまだそれほど自由で平等ではないのか、そうした原因について考えています。

### 内藤 まりこ ゼミナール

言語表現を理論を用いて分析し、  
自分や世界の深層を解明する

内藤 まりこ 専任講師

私達の生活空間には、文学や映画、演劇、漫画等、様々な言語表現が溢れており、それらは趣味や娯楽の対象として広く享受されています。しかし、このような日常の鑑賞の場においては、言語表現が私達の物事に対する思考や認識のあり方を形作っているという事はあまり意識されません。本ゼミでは、こうした言語表現の深層の働きに迫るべく、「批評理論」と呼ばれる、言語表現を読み解くための専門的な技術を習得し、文学や映画、演劇、漫画等の言語表現を分析することで、日常感覚の敷衍によっては導き出すことのできない作品の解釈や作品と歴史的・社会的背景とのかかわりを理解する方法を身につけられるでしょう。ゼミ生はゼミでの議論を通じて分析方法を学びつつ、自らが選択した作品や事象に対して論点を立ち上げて分析に取り組み経験を積み、研究成果を卒業論文にまとめます。



PROFILE -----  
内藤まりこ：専門は日本古典文学研究・比較表象論です。学部では社会学を専攻し、現代社会の課題を解決するための様々な視座を学び、大学院では現代社会を相対化する自分独自の視座を確立したいと思い、批評理論を学んで日本古典を研究しました。情コミでは、複数の研究領域を学んだ経験を生かし、多様な興味関心を抱く学生の皆さんの探究心に応えられるように視野を広げていきたいと思っています。

### 坂本 祐太 ゼミナール

私たちの身の回りにある「ことば」の  
不思議を発見・分析・解決する

坂本 祐太 准教授

私たちが日頃何気なく使っている「ことば」には、実は様々な不思議が潜んでいます。たとえば「マロリーヌ」と「チョリッツ」というお菓子の名前では、前者の方が甘くて柔らかそうな印象を感じるのはどうしてでしょうか？ また、どうして私たちはあまり気が乗らない他人からの誘いを断る際に、わざわざ相手に配慮して断る理由を考えたり、時には嘘をついたりするのでしょうか？ 本ゼミナールでは、このような「ことば」の不思議をゼミ生が主体的に見つけ出し、その謎を言語学の理論に基づき解き明かすことを目標としています。



PROFILE -----  
坂本 祐太：専門は言語学（生成文法統語論）で、特に「ことば」の省略現象を中心に研究を進めています。情コミでは自分の研究分野だけでなく、様々な観点から「ことば」の面白さを伝えるべく日々努力しています。日本の大学を卒業後にアメリカの大学院で学位を取得した経緯から、英語の勉強法や留学の相談に乗ることも多くあり、様々な面で充実した大学教員生活を送っています。

# 情報コミュニケーション学部ならではの 多様な科目

## 外国語科目群

### 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ

#### ドウ,ティモシー J. 専任講師

This course teaches English communication skills so that you can use English to interact with people from around the world. In every class, students have many opportunities to use English and develop their communication skills in group discussions and activities.



3年  
**外川 皓慈**  
静岡県立  
沼津東高等学校卒業

この講義では、何気ない会話や公の場での対談などのコミュニケーションを分析し、発言の意味や話し方が時と場所に応じてどのように変化するかを考えます。会話を正確に聞き取るリスニング力や、会話の主題や発言の要点を理解する読解力が身につきました。得手不得手にかかわらず、生の英語に触れ、英語ならではのニュアンスを理解したい人におすすめの講義です。

## 情報リテラシー科目

### プログラミング実習Ⅰ・Ⅱ

#### 山崎 浩二 准教授

私たちはなんらかのソフトウェア=プログラムを通してコンピュータを利用します。従って、プログラムがどのように動作し、どのように作成されるのかを理解することは、コンピュータに対する理解を深めるために重要です。この科目では、プログラミング言語としてJava言語を用い、実習を通してプログラミングの基礎を学びます。



2年  
**松尾 光晟**  
神奈川県立  
大船高等学校卒業

初心者の方、少しでも興味のある方にぜひ受講していただきたい授業です。僕は文系で苦手意識を持っていましたが、丁寧な指導により、後れを取ることなく理解できました。学んだ内容を実践することで、基礎的なプログラミングの知識と実践力が身につきます。またプログラミングがうまく実行されない際に、誤っている部分を見つけ改善する過程で、問題発見能力も養われました。

## 日本語表現科目

### 日本語表現Ⅰ・Ⅱ

#### 内藤 まりこ 専任講師

日々私たちは自分とは異なる経験、背景を持つ様々な人々に出会っています。「日本語表現」では、他者の考えを正確に理解し、自分の考えを人々に分かりやすく伝えるための方法や技術を体得し、本学部の目指す教育目標の基礎を培うことを目指します。「日本語表現Ⅰ」では、「書くこと」に焦点を絞り、日本語表現の諸形式を学び、目的や状況に応じた日本語での作文の技術を身につけます。「読むこと」を中心とする「日本語表現Ⅱ」では、様々な形式による日本語表現の読解を通じて、日本語を取り巻く多様なテーマについて考察し、自らの思考を複数の表現形式にまとめる実践も行います。



2年  
**高橋 京**  
東京都立  
小山台高等学校卒業

この授業では大学での学びにおいて欠かせない論文やレポートについて学習できます。少人数体制での授業と実践的な課題により確実に能力を身につけられる点が魅力です。論文での引用の仕方から依頼文など社会で必要となる、文章の書き方まで幅広く学修。この授業を通じて得た様々なジャンルの文章を読み書きする力は、大学の学習のすべての根底となると思います。

## クリエイション科目

### デジタル・アートA・B

私たちは自分の考え、感情などを常に表現して生活しています。その意味では誰もが表現者であり、クリエイターであるといえます。これまで作曲は専門的な訓練を積まないと不可能だと考えられてきました。しかし、今日のテクノロジーの進歩により、パソコン1台で誰もが創作者になることが可能になりつつあります。パソコンのソフトウェアを用いた音楽制作の実践を通じて受講者自身の表現力と創造性を高められる授業を目指しています。



4年  
**村瀬 なつほ**  
東京都  
私立調友学園女子中学高等学校卒業

パソコンを用いた音楽制作について学べます。専門的な知識を持っていないことも、授業や作品制作に主体的に取り組むことで、DTMや音楽理論などの知識を身につけることができました。自分のアイデアをもとに音楽制作をする過程は、創造と表現の面白さで溢れています。テクノロジーを利用した主体的な音楽制作や発見を楽しみたい方にぜひ受講していただきたい授業です。

## リサーチリテラシー科目

### 科学リテラシー

#### 石川 幹人 教授

マイナスイオンにゲルマニウム、コラーゲンからデトックスまで、人体に有効とされるもののブームが現れては消えていきます。それらには十分な科学的証拠がないまま、宣伝ばかりが先行しています。科学の信頼をよそった疑似科学ビジネスなのです。自然科学はもとより、社会科学や人間科学の発展が文明を支えてきましたが、科学の先端では不確実な理論やデータがあふれています。本授業では、科学的なものの見方や考え方を身につけ、科学と疑似科学とを適切に評価できるようにします。高校まで確実な知識ばかりを習ってきた方には、目からウロコが落ちるような体験があるでしょう。



2年  
**奥村 千帆子**  
福岡県立  
修猷館高等学校卒業

この授業を通じ、先入観による科学への誤解や世間一般に浸透している科学に対するイメージを改めることができます。科学と科学的根拠に乏しい「疑似科学」の違いを学び、日常生活においても科学的な効果を持つものやそうでないものを段階的に把握できるようになりました。科学が好きな人はもちろん、これまであまり科学に触れてこなかった人でも楽しめる、視野が広がる授業です。

## キャリアデザイン科目群

### キャリアデザイン

キャリアデザイン科目群では、1年次に「キャリアデザイン」、2年次に「インターンシップ入門」、3年次に「インターンシップ」の科目を設置し、大学卒業後に社会で働くことについて主体的・実践的に学べるよう充実したプログラムを提供しています。「キャリアデザイン」では、企業やNPO等の第一線で活躍されている方々から、仕事や学生時代について話を聞き、働くことの意味について考えます。「インターンシップ入門」では、ビジネスマナー講習や業界・企業研究を通じて、より実践的にインターンシップの概要を学びます。「インターンシップ」では、高度情報社会を牽引する企業から与えられた課題に対して、グループワークを通じて解決策を提案することで、リアルなビジネスの機会を体験します。



1年  
**村原 沙紀**  
神奈川県  
私立森村学園高等部卒業

様々な業界で活躍する、それぞれ多様な経験を持った方のお話を聞くことができます。企業就職以外のキャリアについて考えるきっかけを与えてくれました。講師の方は失敗談などもざっくばらんに話してくださり、人生のあらゆる場面で役立つ知見を得られました。将来の目標が漠然としている人や決まっていなくても、には特に受講してほしいです。

# 情報コミュニケーション学部の 国際交流プログラム

情報コミュニケーション学部では学部独自の短期学生交流プログラムを積極的に推進しています。  
※2024年4月時点でのプログラム内容です。

## タイ

### シーナカリンウィロート大学との短期学生交流プログラムを実施

タイのシーナカリンウィロート大学への学生派遣プログラムを実施し、現地の学生と交流を深めています。実際に行ってみることで様々な「気づき」が得られます。

### タイへの学生派遣プログラム

このプログラムの目的は、異なる社会や文化背景を持つ同世代の学生と親密に交流することで、わが国の文化や社会をふり返る機会とするとともに、異なる文化を尊重できるようになることです。海外に親しい友人が得られれば海外の出来事への見方も変わります。また、アジアを始め海外で働くことについて積極的な姿勢で臨めるようになるでしょう。参加学生は、タイの文化や社会を事前に学んだ後にタイへ出発します。約2週間、シーナカリンウィロート大学で日本語専攻の学生たちと交流します。比較文化ワークショップや授業に参加するほか、タイの学生らと日本とタイの比較などのグループワークを行います。タイの学生らと市内やタイ文化を知るための史跡などを見学することも予定されています。もともと観光地としても人気の高いタイですが、このプログラムは、単なる観光では得ることができない「気づき」の機会を提供します。



アユタヤでの校外学習の様子



シーナカリンウィロート大学での交流学習の様子

### 参加学生の声

日本人よりも気の合う学生に出会えました。こうした絆を築けたのは彼らの努力や他文化を理解しようとする姿勢によるものだと感じ、私も一層努めようと思いました。(2年) 現地学生とのグループワークでは、政治・災害・教育・性的多様性など幅広く話し合うことができ、新たな気づきを得られました。(2年)



現地の学生と

タイ文化体験の様子

## ベトナム

### ベトナム国家大学ハノイ外国語大学などの短期学生交流プログラムを実施

ベトナム国家大学ハノイ外国語大学の日本語学部の学生と、この30年で急成長を遂げたベトナムと課題先進国である日本との比較・交流学習をベトナムへの学生派遣および現地学生との交流を通じて実施します。

### 国際交流人材の育成とベトナムへの学生派遣による実践プログラム

このプログラムはベトナムの学生との交流を楽しむだけでなく、国際交流人材の育成を意識したプログラムです。春学期には四大国際交流機関(JBIC; 国際協力銀行、JICA; 国際協力機構、JETRO; 日本貿易振興機構、JF; 国際交流基金)、日本外国人特使員協会、国連広報センターなどについて学び、クール・ジャパン、観光庁「通訳案内士」、文科省「世界遺産検定」および国連世界遺産制度、文化庁「日本語教師制度」の理解を通じて、インバウンド・アウトバウンドといった観光産業だけではなくより広く学際的な国際交流についての知見を深めます。そして、その実践としてベトナム派遣ではベトナムの学生と国連・持続可能な開発目標(SDGs; Sustainable Development Goals)を共有して、国際学生共同による調査や成果物の製作を実施します。

### 参加学生のコメント 友達と日本と、そして、自分自身の発見に!

異文化交流を通じ、「かけがえのない友人達を得ることができた」という声が寄せられています。また「日本について紹介する際、自国についてよく知らないことを痛感した」と日本を見つめ直すことや、「馴染みのない地で今まで知らなかったことに触れ、自分の殻を破る貴重な経験ができた」という感想もありました。



校外学習の様子



世界遺産ハロン湾の湾上に奇岩絶景を背に

## ニュージーランド

### ニュージーランド海外ロケ体験プログラムをフジテレビと共同で実施

ニュージーランドのオークランドで行う海外ロケ体験のほか、メディアに関する事前講義や機材の扱い方の習得、そしてロケ終了後はフジテレビ湾岸スタジオの専用スタジオでの模擬番組制作をプロの番組ディレクターの指導の下で行います。番組制作の一連の作業を通して、制作者の視点からメディアリテラシー(=テレビを見る目)を養うことを目指します。



事前学習で入念に下調べ

### 事前学習

メディアリテラシーに関する講義の後、テーマごとにグループに分かれ、取材のネタを探しに、取材先のリストアップ、現地リサーチなどを行います。現地取材をする際に使用するカメラ機材の使い方やインタビューの仕方についても、プロの番組ディレクターからレクチャーを受けます。

### 現地ロケ

積極的に取材先への下見や街頭録音(街頭インタビュー)、現場リポートなどにチャレンジします。さらに学生自身が事前に準備した取材プランによりインタビュー・撮影を行います。インタビューの文字起こしを行いながら、取材内容を基に、番組制作の構成原稿を作成していきます。



オークランドでのロケの様子

フジテレビ湾岸スタジオでのリハーサル



本格的な機材を使った収録



裏方の活躍

### 事後学習・スタジオ撮影

スタジオ撮影では、完成したVTRを使いプロのスタッフ指導の下、実際に番組制作にも使用されている撮影機材等を動かし番組収録に臨みます。

番組に出演するキャスター、ナレーターだけではなく、番組進行を指示するプログラムディレクター、スタジオ進行を指示するフロアディレクター、そのほかにもカメラマン、音声、スイッチャー(映像の切り替え作業担当)などの裏方の仕事までのすべてを学生たちが担当し、番組制作の一連の過程を学びます。

本番前のリハーサルでは、担当する役割ごとに機材の操作方法や収録の流れを入念にチェックし、一発勝負の本番に挑みます。本番終了後には、収録した番組をプレビューし、各学生が思い思いに授業を通じて感じたことを振り返り、フィードバックを受けます。

完成した動画(2023年度)は右の二次元コードで閲覧可能です。



参加学生からは、「いつも見ているテレビ番組の制作側を体験できたことは、とても貴重な機会だった。」「現地の人と交流をすることで、ニュージーランドの文化を深く知ることができ、良い経験になった。」「このプログラムを通じて、積極的に物事に取り組む姿勢が身についた。今後もこの姿勢を忘れず、何事にも挑戦していきたい。」などの声が上がる、満足度の高いプログラムです。

## 情報コミュニケーション学部の学際協定留学

学際協定留学とは、情報コミュニケーション学部が独自で協定を締結している大学・学部、に、交換留学生として半年または1年間留学するプログラムです。

協定校	シーナカリンウィロート大学 人文学部	香港城市大学 人文社会科学院	ベトナム国家大学ハノイ外国語大学 日本語文化学部	ハノイ貿易大学	ゲーテ大学 言語学・文化学・芸術学部
所在地	タイ・バンコク	中国・香港特別行政区	ベトナム・ハノイ	ベトナム・ハノイ	ドイツ・フランクフルト
授業言語	英語/タイ語	英語	英語	英語	英語/ドイツ語



ともに学ぶ教員たち

- ① 主な担当科目
② 研究テーマ
③ メッセージ

阿部 力也 教授
色んな犯罪にみる「現代的特異」の考察
共犯の比較法的考察(とくに日本法とドイツ法)
① 犯罪と法、現代型犯罪と刑法
② 「犯罪と法」をめぐる重要論点の分析
③ 色んな「もの」の現方」のなかから、「法的な思考」を身につけるメリットに気づいて欲しいと思う。意外に、皆さんにとって現代社会を生き抜くための「方策」になるのでは?

江下 雅之 教授
技術と産業・社会の相互作用の関係の研究
① 情報社会論、メディアの歴史
② メディア環境とライフスタイルの相互作用関係
③ 実用的な知識は社会人になればイヤでも習得するもの。大学生の時代こそ(役に立たないことに)熱中しましょう。

鈴木 健 教授
カルチュラル・スタディーズ
説得コミュニケーション論
① メディア批評
② カルチュラルスタディーズ入門ーメディア批評の方法論を学ぶ
③ 現代社会をポップ・カルチャーと説得コミュニケーション論を通じて読み解く方法を学びましょう。

竹中 克久 教授
組織社会学、組織文化研究(組織シンボリズムおよび組織美学)
① 組織論、組織と情報
② 組織社会学ー現代社会を読み解く
③ 大胆な発想から精緻な論理を組み立てる楽しさを伝えていきたいと考えています。

宮本 真也 教授
コミュニケーションと相互承認の社会理論
① 社会学、コミュニケーション思想史
② 批判的社会理論
③ 現代という時代、日本という社会を越えていく考え方を、大学時代に身につけましょう。

熊田 聖 准教授
ビジネスにおける交渉での満足できる合意の要因は何か
① 意思決定論
② 意見の対立している分野を取り上げ、調査し、自分の考えを明確にし、それを他人に説明できるようにする
③ あなたのの中の理系と文系の知識を統合すると、社会の問題をじっくり考えられるようになります。

鈴木 雅博 准教授
学校組織における教師間相互行為
① 情報社会と教育
② 学校の社会学
③ 学ほどに問いが深まり、問いが深まるとそれまでの自分の考えが描られます。自分を揺さぶる学びをしてみましょう。

堀口 悦子 准教授
「ジェンダー」視点でコミュニケーションから法制度までを分析
① ジェンダーと法
② ジェンダーに基づく性暴力、ヒューマン・セクソロジー
③ 「ジェンダー」を知っている人も知らない人も、一緒に学び、考えてみましょう。

齋藤 航 専任講師
債務不履行および不法行為に基づく損害賠償請求の根拠とその範囲
① 市民社会と法、財産と法
② 民法における債務不履行責任、不法行為責任
③ 法律を学ぶ楽しさ、ルールに基づいて問題を解決する面白さを知ってもらいたいと思っています。

宮川 涉 准教授
作曲と音楽学研究
① 音楽論、デジタルアート
② 作曲と音楽学研究、音楽を中心としたアート実践研究
③ 既存概念にとらわれず、失敗を恐れず、積極的に色々なことに興味を持って取り組んでください。

石川 幹人 教授
人間の認知機能を生物進化の歴史に位置づけ、様々な心理現象の背景を探る
① 科学リテラシー、脳科学、認知科学
② 私たちの身の周りにある奇妙なことを発見し探究しよう
③ 人間と社会、それらを取り巻く地球環境など、大きなことを見とおす力を養ってください。

清原 聖子 教授
アメリカ政治における政治コミュニケーションの姿
① 情報政策論、現代アメリカ政治論
② 現代アメリカ政治とメディア、ネット選挙、フェイクニュースなど
③ メディアやソーシャルメディアを切り口に、政治学的な視点から現代社会の諸問題を捉え、解決策を考えてみませんか。

鈴木 健人 教授
国際安全保障、冷戦史、構成主義の国際政治理論の研究
① 国際関係論
② 米国の覇権が揺らぎを見せる中で進んでいる国際秩序の変動を理解し、日本の進むべき方向を見定める
③ 厳しい現実を冷静に分析し前向きに問題解決を考える、たくまさを身につけよう。

田村 理 教授
フランス憲法史、フランス革命と憲法、日本の政治文化と立憲主義
① 憲法、人権と政策、個人と国家
② 現実の人と社会と憲法の描く人と社会のズレを明確化し考察する
③ 与えられたルールにのっていけば良い時代は終わりました。社会にアビールして居場所をつくる発信力を大学で身につけてください。

山口 生史 教授
組織がうまく機能するためのコミュニケーション学
① 組織コミュニケーション
② 組織コミュニケーションと組織行動学
③ 皆さんとともに組織の問題をコミュニケーションの視点から考えていきたいと思います。

後藤 晶 准教授
行動経済学・実験経済学
協力行動・利他的行動に関する研究
① 情報と経済行動、不確実性下の人間行動
② 行動経済学・実験経済学：人間の行動と社会制度を考える
③ 大学時代は様々なことに「悩む」時代です。よく悩み、いろんなことにチャレンジして、自分の新たな可能性を切り拓きましょう。

田中 洋美 准教授
ジェンダー研究、メディア研究、文化研究
① ジェンダー論、ジェンダーと社会
② 新興デジタル技術の社会、文化分析
③ 枠にとらわれない思考力を鍛え、自らを自由にしていきたいと思います。

山内 勇 准教授
日本企業のイノベーション活動、知的財産制度に関する実証研究
① 情報社会と経済、情報産業論
② イノベーションの経済学
③ 情報社会やデータエコノミーで活躍できる「人間力」を養いましょう。データやAIなど素材や道具だけではイノベーションは起こりません。

高橋 華生子 専任講師
国際開発、都市・地域計画、NGO研究
① 国際開発論
② 途上国・新興国の都市における空間開発のあり方を検討する
③ ネットワークを生かして、経験からの学びと遊びを一緒に探っていきましょう。

竹崎 一真 専任講師
スポーツと身体をめぐる社会学
① ウェルネス、ウェルネス・スポーツ
② スポーツ社会学、身体とジェンダーに関するカルチュラル・スタディーズ
③ 学びとは頭で考えることだけではありません。身体的な経験を通して得る知識＝「身体知」という言葉があります。身をもっと新しい知と出会い、考え、またこれまでの当たり前を問い返すような、そんな学びの地平を切り拓いていきましょう。

今村 哲也 教授
情報社会における知的財産法上の政策課題の検証
① 知的財産法、ビジネスと法
② 知的財産に関する諸問題の研究
③ 情報社会を生き抜くためには、知的財産法に関する知識と理解が必要です。

高馬 京子 教授
超域文化としてのファッション、流行論、日仏ファッションメディアにおけるファッションとジェンダー表象
① 超域文化論、地域文化論
② クリテリカル・ファッション・スタディーズ：メディアにおいて構築/伝達されるファッション（服飾流行）とジェンダー表象
③ 情コミでの様々な学びや経験を通して、視野を広げ、深め、好奇心、探求心を持って自分の夢を見つけてください。

須田 努 教授
歴史学とはどのような学問なのか、現代社会を理解するための日本史研究
① 歴史学、社会文化史・異文化コミュニケーション史
② 日本近世・近代の社会文化、民衆暴力
③ 歴史のセンスを身につけ、よりよい将来を模索するための知を創り上げましょう。

塚原 康博 教授
高齢化時代の公共政策
① 公共政策
② 情報化・少子高齢化・グローバル化時代の公共政策
③ 現代社会を「論理的」かつ「有機的」に考える力を身につけてください。

横田 貴之 教授
中東地域研究、イスラーム主義運動研究
① 多文化と相互理解、地域文化論
② 中東・イスラーム研究ー現代中東とイスラームから異文化と世界を学ぶ
③ 大学生活を通じて、自分の人生における「推し」を見つけよう。

小林 秀行 准教授
災害社会学、災害情報論、リスク社会学。とくに、住民主体の災害対策や災害復興に関する研究
① リスク社会学
② リスク社会をどう生きたいのかー調整と共生から考える現代社会
③ 大学は、新たなものへと触れる機会に溢れた場所です。多くに触れ、学び取り、あなたの夢や志を見つけていきましょう。

中里 裕美 准教授
地域通貨研究、経済社会学、社会ネットワーク論
① ネットワーク社会学
② 社会ネットワーク<つながり>の研究
③ 大学生活を通じて、自分が夢中になれる何かを見つけてください。

山崎 浩二 准教授
コンピュータを用いた様々なシミュレーション
① 情報科学、プログラミング実習
② LSIの故障検査
③ 自分がおもしろいと思えるものを見つけて、大学を楽しんでください。

ドモシー J. 専任講師
第二言語取得
① 英語コミュニケーション、英語音声学
② Second Language Acquisition, Language Teaching Methodology, Discourse and Conversation Analysis
③ Don't be discouraged by your mistakes - they are your biggest opportunities to learn and develop!

大島 岳 助教
生きるための理論としてライフビストリー研究を彫琢する
① 社会調査法、質的調査分析法、社会調査実習
② ライフ/オーラル・ヒストリー研究、社会的苦悶とレジリエンス(特にHIV/エイズ、性的マイノリティ)
③ 夢中になって打ち込める何か、行ったことのない道へ歩む勇気を持つこと。社会学は、世界と自分の人生をより良くするための終わりなき挑戦です。一緒に学んでいきましょう。

岩瀬 輝 教授
生命論(生命とは何か)
生命思想史
グスタフ・フェヒナーの精神物理学
① 生命思想史
② 生命の探究
③ 好きなこと、本当に大事だと思うことを、追求しつづけてください。

施 利平 教授
東アジアにおける家族・親族関係の姿と持続
① 家族社会学
② 恋愛・結婚・家族の社会学
③ 知力とともに気力、体力とコミュニケーション力を身につけよう!

関口 裕昭 教授
ドイツ抒情詩、日独比較文化論
① 比較文学・比較文化、ドイツ語
② メルヒェン研究/映画と文学の比較研究
③ 異質なものと出会いを通して、自分の世界を広げ、深めていきましょう。

根橋 玲子 教授
主に日本人の異文化接触における対人コミュニケーション行動
① 異文化理解・異文化間コミュニケーション
② 異文化間コミュニケーション・多文化共生
③ 大学では、様々な背景の人々との出会いや学びを通して、多文化に生き生きと体感してください。

小田 光康 准教授
マスメディアと高等教育の比較制度分析、ジャーナリズム・マスメディア教育、メディアクリティーク
① メディア教育論
② ジャーナリズムと戦略コミュニケーションの理論と実践に関する研究
③ メディアを通じて情報発信するメディアリテラシーが求められる現在、メディアの現在進行形を一緒に学びましょう。

坂本 祐太 准教授
言語理論に基づく「ことば」の研究
① 言語学
② 言語理論に基づく「ことば」の研究
③ コミュニケーションの代表的なツールである「ことば」が持つ様々な不思議を一緒に紐解きましょう。

日置 貴之 准教授
歌舞伎における戦争・災害表象、近代日本における演劇・芸能の古典化
① 日本文学、日本文化論
② 日本演劇研究、江戸時代後半から明治時代の演劇(歌舞伎)における戦争や災害の描写
③ 「研究」ということを堅苦しく考えず、身の回りのどんなことでも研究対象になりうるのだとってください。自分が関心を持っている事柄について、少しじっくり考えてみましょう。

脇 竜太郎 准教授
防衛性の社会心理学
特に存在脅威管理理論、公正さの判断
① 社会心理学
② 社会心理学：特に防衛性からの人間および社会理解
③ 心と社会の相互作用という観点から、人間を多面的に理解する姿勢とスキルを身につけましょう。

内藤 まりこ 専任講師
日本文学・文化研究、東アジア地域を対象とする比較文学研究
① 日本語表現
② 言語表現を読み解く技法：理論と実践
③ 文学や映画を題材に、世の中を少し異なる角度から眺める方法を身につけるお手伝いをします。

牛尾 奈緒美 教授
企業に働く人々がジェンダーの枠を超えて活躍できる場・方策を考案
① ジェンダー・マネジメント
② 企業に働く人々がジェンダーの枠を超えて活躍できる場・方策を考案するなど、組織のダイバーシティ推進に関する研究
③ 幸せなキャリア、自分にあった生き方は何か、この4年間でじっくり考えてみませんか。

島田 剛 教授
国際経済論
開発経済学、途上国への援助、国内の経済格差、福島復興
① 国際経済論
② 気候変動、途上国の貧困にどう取り組むかーあるべき政策を考える
③ 格差が世界的にも国内でも拡大しています。どのような解決方法があるか考えていきましょう。

大黒 岳彦 教授
「メディア」と「情報」の思想・哲学的研究
① 哲学、メディア論
② 現代社会の(現在(いま))を多角的に掘り下げる
③ 自分だけの「問題」を見つけ、それとことごとくたどること。

波照間 永子 教授
身体技法および舞踊技法の研究、無形文化財のアーカイブ化(記録・保存)、現代芸術の創造
① 身体表現論
② 芸術コミュニケーション研究
③ 社会におけるアート役割・問題を検討する
④ 様々な体験を重ね、試行錯誤しながら、あなた自身の「ぶれない軸」(強み)を見つけましょう。

川島 高峰 准教授
非欧米圏における近代化・民主化の比較
① 政治学、政治とメディア
② ミレニウム・Z・α世代の日本国家論/日本人論
③ 地球規模で考え、現場で行動できる人を目指そう。Think Globally, Do Act Locally. Let's Get Glocally!

清水 晶紀 准教授
行政活動の不作為に対する法的統制、原子力行政の実態分析とその法的統制
① 現代行政と法
② 各アクターの視点で環境行政の課題を分析し、法政策を提言する
③ 情報コミュニケーション学部だからこそ得られる「何か」があるはず。それを一緒に考え、そして掘り取りましょう。

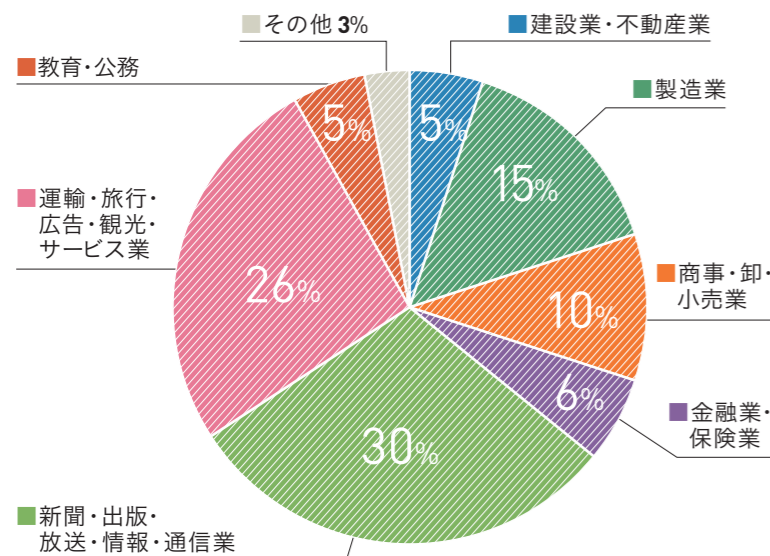
蛭川 立 准教授
心身問題への人類学的アプローチ。儀礼とコスモロジーの研究
① 人類学、身体と意識、不思議現象の心理学
② 人類学と意識研究
③ 世界には不思議がいっぱい。よく観察し、よく考察しましょう。

和田 悟 准教授
法分野を中心とした情報技術応用
① 情報社会と安全
② アジアに目を向け情報社会と情報技術について考える
③ いそがず、じっくりいきましょう。

宮田 泰 専任講師
現代社会における私的紛争の解決をめぐる制度と手続きの考察
① 紛争解決システム論
② 紛争解決システム論
③ 情報コミュニケーション学部でもに学びましょう。

# 情報コミュニケーション学部の就職実績

業種別 就職状況 (2023年度卒業生)



## 主な就職先企業・団体名

<b>建設業・不動産業</b>	・野村不動産(株)	・東急リバブル(株)	・三菱地所プロパティマネジメント(株)
	・三井不動産ビルマネジメント(株)		
<b>製造業</b>	・(株)パナソニックエレクトロニクス	・大日本印刷(株)	・雷印メグミルク(株)
	・TOPPAN(株)	・ロート製薬(株)	・積水化学工業(株)
	・(株)日立製作所		
<b>商事・卸・小売業</b>	・アマゾンジャパン合同会社	・(株)ニトリ	・まいばすけっと(株)
	・P&Gジャパン合同会社	・リコージャパン(株)	・(株)しまむら
	・サムスン電子ジャパン(株)		
<b>金融業・保険業</b>	・りそなグループ	・(株)ゆうちょ銀行	・東京海上日動火災保険(株)
	・三井住友信託銀行(株)	・(株)みずほフィナンシャルグループ	・(株)ジェーシーシー
<b>新聞・出版・放送・情報・通信業</b>	・UUUM(株)	・KDDI(株)	・楽天グループ(株)
	・東宝(株)	・JCOM(株)	・日本アイ・ビー・エム(株)
	・(株)フジテレビジョン	・(株)テレビ東京	・ソフトバンク(株)
<b>運輸・旅行・広告・観光・サービス業</b>	・日本航空(株)	・西濃運輸(株)	・(株)星野リゾート・マネジメント
	・(株)スターダストプロモーション	・(株)エイチ・アイ・エス	・東京電力ホールディングス(株)
	・アクセスチュア(株)	・(株)ベイカレント・コンサルティング	・PwCアドバイザリー合同会社
	・(株)電通	・(株)博報堂	
<b>教育・公務</b>	・東京都庁	・東京特別区	・神奈川県庁
	・札幌市役所	・千葉県警察本部	

(順不同)

# 情報コミュニケーション学部で取得できる資格

## 教員免許状

情報コミュニケーション学部では、指定された科目を修得すれば、次の教員免許状を取得することができます。

中学校教諭一種免許状	社会、外国語(英語)
高等学校教諭一種免許状	公民、外国語(英語)、情報

教員免許状を取得するためには、次のような科目群の単位修得が必要です。

- 学士(情報コミュニケーション学)の取得に必要な単位(つまり学部を卒業できる条件を満たすこと)
- 免許状に応じた指定科目
- 「就職に関する科目」

※詳しくは『資格課程案内』をご覧ください

## 学芸員、社会教育主事、司書、司書教諭

指定科目の修得により卒業と同時に取得できます。

## CCNA (シスコ技術者認定資格)

CCNA (Cisco Certified Network Associate)とは、ネットワーク関連製品(CISCO Networking Academy)の最大手であるシスコシステムズ社が認定する資格で、中小規模のネットワークの構築・運営・管理が可能な能力を身につけていることを証明するものです。CCNA資格の取得のための授業としては「ネットワーク技術Ⅰ～Ⅳ」が用意されています。動画や音声を活用したWeb教材が用意されていて自分のペースで学習を進めることができるようになっていきますし、授業ではネットワーク機器を使って実際にネットワークを構築し実際的な問題に対処するなどの実践的な実習も取り入れられています。

## 社会調査士

この資格は社会調査をすることのできる知識と技能を有していることを証明する資格です。社会調査には、マーケティング調査、コミュニティ・企業・学校などにおける意識調査など様々なものがありますが、社会科学的手法に従い多様な社会現象を理解し、諸現象の因果関係などを明確に提示するのに有効な手段です。社会調査協会に認定された科目(全部で7種類、うち一部選択)を修得して卒業すると、試験を受けることなく社会調査士の資格を得る条件を満たします。

# 情報コミュニケーション学部生の1日

## ひとり暮らしの場合



自分の生活すべてに責任を持つからこそ成長できている実感があります

3年  
正司 彩音  
大阪府立岸和田高等学校卒業

ひとり暮らしを選んだ理由と、実際の感想を教えてください。

上京への強い憧れと、両親から離れたところで生活して自立したいという思いから、ひとり暮らしを選びました。実際に暮らしてみると家事など大変なことも多く、両親の偉大さを実感する毎日です。家事や体調管理、学業とアルバイトの両立など自分の生活すべてに責任を持つ経験は必ず自分の成長につながると思います。

普段はどのような大学生活を過ごしていますか？

週に3日大学へ行き、アルバイトは週に2日から3日ほど行っています。空きコマの時間にオンデマンド型のメディア授業を受講するなどして、時間を有効に活用しながら生活しています。授業は1限が多いため、早寝早起きは必須。サークル活動や就職活動なども本格化する中で、体調管理には何よりも気を遣っています。

## ある日のスケジュール

- 6:30 起床**  
まずは天気予報をチェック。朝ごはんは軽く済ませます。
- 9:00 英語コミュニケーションI**  
英語でディスカッションやプレゼンテーションをします。
- 10:50 自然言語の生成モデル**  
言語学における「統語論」などを中心に学びます。
- 12:30 昼食**  
神保町は美味しい飲食店がたくさんあり、開拓するのが楽しいです。
- 13:30 空きコマ**  
空きコマを活用してオンデマンド型のメディア授業を受講します。
- 15:20 問題分析ゼミナールI**  
言語学のゼミに所属しています。グループワークが多く、活気があります。
- 18:00 アルバイト**  
生活雑貨などを販売しています。接客はやりがいがあります。
- 23:00 帰宅**  
買い物を済ませて帰宅。遅めの夕食を食べ、入浴します。
- 24:30 就寝**  
翌日のスケジュールを確認してから就寝



## 1カ月の生活費(収支)

収入	
仕送り	120,000円
アルバイト	80,000円
合計	200,000円
支出	
家賃	80,000円
食費	20,000円
光熱費	10,000円
交際費	40,000円
貯金	30,000円
趣味その他	20,000円
合計	200,000円

## 自宅から通学の場合



空き時間も有効活用し、充実した毎日を送っています

2年  
川畑 夢大  
神奈川県立鎌倉高等学校卒業

自宅から通うメリット・デメリットを教えてください。

通学時間を活用し、電車内で授業の予復習ができます。また音楽やラジオを聞いたり、本を読んだりするのも楽しみの一つです。一方で大学まで約1時間半かかり、通学だけで少し疲れてしまうことも。1限がある日は朝が早いので、慌てないよう、前日に準備しておくことを心掛けています。

普段はどのような大学生活を過ごしていますか？

授業のない時間は課題やアルティメットの練習をしています。放課後の楽しみは友達との食事です。土日はアルティメットの練習に参加。一日中予定のない日はほとんどありませんが、空き時間を活用し、映画や音楽などの趣味も楽しんでいます。

## ある日のスケジュール

- 6:00 起床**  
朝ごはんは必ず食べるようにしています。天気予報も忘れずに確認。
- 7:00 登校**  
通学中は音楽鑑賞や読書の時間に。ときどき授業の復習も。
- 9:00 Critical Discussion**  
スピーキングとリスニングを中心に学びます。
- 10:50 社会学**  
社会の仕組みや理論を学びます。
- 12:30 昼食**  
友達と談笑する時間。
- 13:30 言語学**  
言葉の仕組みや社会とのつながりを学びます。
- 15:15 図書館へ**  
アルバイトまでの時間を図書館で。課題や読書に没頭できる場所。
- 17:00 アルバイト**  
和食の定食屋でホールのアルバイト。接客を通じて社会勉強。
- 22:30 帰宅**  
遅めの夕食を食べ、本を読んだりして自分の時間に。
- 24:00 就寝**  
翌日の準備も忘れずに。



## 1カ月の生活費(収支)

収入	
仕送り(昼食代・交通費)	10,000円
アルバイト	70,000円
合計	80,000円
支出	
食費	10,000円
交際費	20,000円
貯金	25,000円
衣類・趣味等	25,000円
合計	80,000円

# 各分野で活躍している卒業生たち

## 放送局



株式会社福岡放送 勤務  
**山本 康聖**さん  
福岡県立修猷館高等学校卒業  
2019年4月、株式会社福岡放送に入社。  
報道部所属

### 情コミで参加した実践的なプログラムがテレビ業界を志すきっかけに

卒業後は地元に戻り福岡のテレビ局へ入社。1年目から記者として事件や事故を中心に取材をしてきました。2年目で転勤した北九州支局では、保育園送迎バスでの置き去り事故や旦過市場における2度の火災など、全国に放送されるニュースの現場で、関係者や被災者の声を集めました。また、日々のニュースの取材と並行して水害や戦争など自分の興味のある分野について長期取材を実施。ドキュメンタリー番組として、放送するチャンスも得ました。2022年10月からは、朝の情報番組のディレクターとして生番組の制作を担当しています。

学生時代には、情コミとフジテレビが共同で行っ

ている「国際交流(メディア)」に参加。ネタ探しから海外ロケ、台本の作成やスタジオでの収録など実際の番組づくりに近いプログラムを体験しました。現場でしか分からないことを多くの人に伝える楽しさを実感し、テレビ業界を志す大きな契機となりました。情コミは、目標が決まっていな人はそれを見つけ確かなものにする、目標が決まっている人は学びを積み重ね自分を磨くことができる場所だと感じます。

私の信念は、「明日、誰かが泣かないための報道をする」こと。今後も、より視聴者に伝わりやすくするための工夫や深く知ってもらうための番組作り挑戦し続けたいです。

## メーカー



パナソニック コネクト株式会社 勤務  
**小野 緋里**さん  
東京都私立東京女子館高等学校卒業  
2020年4月、パナソニック株式会社に入社。  
メディアエンターテインメント事業部  
マーケティング部DCX & WEB課所属

### 様々な文化・人・考え方に触れた経験が価値観を大きく変えました

プロジェクターやカメラを扱うBtoBの事業部で、新規事業のマーケティングを担当。業務内容はテーマパーク業界へのサービス提案書の作成や、映像制作業界向けサービスのUX(ユーザー体験)検討などです。私たちの商材は皆さまが目にするエンターテインメントを支えています。その使用現場を訪れ、感動している方々を見るのが大きなやりがいです。

情コミで印象に残っているのは学部間協定校への留学。人との付き合い方、自分のあり方、ものの見方など、価値観を大きく変えてくれた経験です。様々な文化・人・考え方に触れ、多角的な視点を得

ることができ、性格もよりアクティブかつオープンになりました。この留学は私の人生のターニングポイントであり、仕事においてもお客様視点を考える上で、また人との付き合いの上で、非常に役立っています。

入学時は将来やりたいことが定まっていなくても、卒業する頃には自分に合った、自分がやりたいことが見つかるはず。思わぬ新しい自分を発見できるかもしれません。情報コミュニケーション学部に入社して、ぜひ様々な新しいことに挑戦してみてください。

## 広告



株式会社博報堂DYメディアパートナーズ 勤務  
**竹島 絵奈**さん  
静岡県立藤枝東高等学校卒業  
2015年4月、株式会社博報堂  
DYメディアパートナーズに入社。  
プラットフォーム戦略局所属

### 自分が将来やりたいことを4年かけて見つけ出すことができる場所

プラットフォームの持っているものを価値化してビジネスに変えるお仕事をしています。入社してから一貫してメディアの仕事をしているため、大学時代に得た学びはあらゆる場面で生きています。情報コミュニケーション学部の強みは「自由」なところです。特に印象に残っているのは、ゼミ活動の中で自身が興味のある「メディア」をあらゆる角度で研究しつくしたことです。時間を潤沢に使い、学びに対しての貪欲さを最大限に発揮して、知りたいことをとことん追求する経験は大学時代ならではの貴重なものだったと感じます。メディアやコミュニケーションは、時代の流れや市況によって刻一刻と変化するもの。情コ

ミで身につけた常にアンテナを高く張り、情報を逃さず捉える姿勢は、今の業務に役立っています。

志望大学や学部を決める過程で「将来やりたいことが分からない」と悩んでいる方は多いのではないのでしょうか。実際に私も高校生の時はそうでした。そういう人にこそ、情報コミュニケーション学部は合っていると思います。学べる範囲がとても広く、そこから自分の好きなものを探ることができるはず。大学の進路を決めるということは、人生で一度きりの大きな選択だと思うので、悔いがないようにしっかり考えてください。応援しています！

## 金融



株式会社日本政策金融公庫 勤務  
**藤田 耶真人**さん  
東京都私立工学院大学附属高等学校卒業  
2022年4月、株式会社日本政策金融公庫  
に入社。  
中小企業事業融資課所属

### 多様な情報とコミュニケーションする力が、業務に活かされています

私は現在、中小企業を対象として融資をご提案する業務を担当しています。公的な政策金融機関として、相手に真に求めておられるサポートに取り組むことがやりがいです。

情コミで特に印象に残っているのは、入学直後に受講した基礎ゼミでの学びです。ここでは、文献などから出てくる数多くの情報の中から重視する情報を見極め、それらを統合して解釈する力が養われました。学問の基礎よりも先に、学問に触れるための土台として「情報の取り扱い方」を学べたことは、私の原点となりました。

この学びは仕事でも発揮されています。業務におい

ては金融という仕事柄、取引先の事業や資金繰りに問題がないかを常に見定める必要があります。提示された情報の中で相手の状態を正しく判断する際に、基礎ゼミで修得した情報を読み解くスキルが発揮されています。現在の目標はとにかく一人前の職員になること。相手から信頼され、任せてもらえる職員になるため、知識・経験ともに積み重ねていきたいです。

情コミは、とにかく自由な学部。自分の可能性を信じて扉を叩けば、応えてくれる環境が整っています。ぜひ、ここで多様な学びを得て、思い描いた未来へ進んでください。

## サービス



株式会社オリエンタルランド 勤務  
**上村 悠馬**さん  
東京都私立明治大学付属中野高等学校卒業  
2018年4月、株式会社オリエンタルランド  
に入社。  
経営戦略本部 リゾート開発部 リサーチ &  
アナリシスグループ所属

### 多分野の学びの中で見つけた「好き」が、今の仕事につながっています

入社して3年間はテーマパークの飲食施設で時間帯責任者として従事、その後2年間はバイヤーとして食材の買い付けや在庫管理を行っていました。現在の部署に配属されてからは、お客様により良い体験・サービスを提供するための調査や分析を担当。たくさんのお客様の笑顔が仕事に励む活力となっています。

情報コミュニケーション学部は、「自分が本当に好きなこと、やりたいことは何か」を知ることができる場だと思います。4年間で幅広い分野や考え方に触れていくうちに、今よりもっと興味のあることが見つかるかもしれませんし、様々な分野に触れた上でも揺るがない確信を伴った「好き」に気づけるかもしれません。

私自身、高校生の時は現職とは異なる業界に興味を持っていましたが、大学生活の中で自分の好きなことの本質に気づき、履修する授業分野も変わっていききました。基礎ゼミや授業で行ったプレゼンやディスカッションを通じて磨かれた相手の考えを知るための傾聴力や、意見の異なる相手と合意形成をはかる上での論理的思考力は、業務で社内外の様々な方と協働する上で非常に役立っています。今後さらにスキルアップし、調査・分析を通して全社的なパフォーマンス向上に寄与していくとともに、様々な志を持って働く同僚のチャレンジも後押しできる存在になりたいです。

## 教員



山梨県立身延高等学校 勤務  
**保坂 俊希**さん  
山梨県立韮崎高等学校卒業  
2022年4月、山梨県立公立高校に入職。  
教諭として勤務

### ゼミで学んだ「固定観念に縛られない」考え方が教育に生きています

担当教科は公民科。1年生の担任をしながら、教務係としても日々奮闘中です。生徒たちのエネルギーが自分を奮い立たせる力になっており、大卒ルーキーとして生徒たちと近い目線で接することができていると思います。

情コミでは幅広い分野について学びました。今でも印象に残っているのは1年次に履修した「哲学」や2年次に履修した「政治学」。正解のない問いに対し、自分と異なる意見も受け入れ、様々な考えを参照しながら思考する力が身につきました。また、1年次から基礎ゼミに参加し行動経済学を学べたのは、とても良かったです。

ゼミで触れたクリティカルシンキングは現在の仕事でも生きています。教育には様々な予期せぬことがつきものです。その際、固定観念に縛られないことは特に重要で、常識にとらわれず、生徒にとって何が最適か考えることは教育の醍醐味だと思います。

情コミには他学部よりも多様な目標を持つ学生が集まり、様々な知見を得られます。情報コミュニケーション学部って何をやるの？と思うかもしれませんが、それは自分自身が決めることです。自ら学び、自らの人生を深いものにする。そんな経験ができるのはこの学部こそだと思います。

# ジェンダーセンターの活動

2004年に開設された情報コミュニケーション学部は、明治大学の女子教育を担ってきた戦前の専門部女子部、戦後の短期大学の伝統を引き継いで、当初よりジェンダー研究の推進を、学部の理念のひとつとして掲げてきました。社会的、文化的に形成された性をめぐるイメージや役割である「ジェンダー」の問題を中心に、さらに多様な生き方を実現する社会の理想としての「ダイバーシティ」と、私たちの「私らしさ」を築き上げるために重要な要素である「社会的承認」を手がかりに、公正な社会実現のための双方向コミュニケーションのあり方を追求することは、情報コミュニケーション学の重要な課題のひとつです。2010年4月にジェンダーセンターが設置されて以降、国内外と連携してシンポジウム・特別講演会・学生向けイベント等を実施しています。



ジェンダーセンター長 牛尾奈緒美教授



ジェンダーセンター QRコード

- ジェンダーセンターの活動実績**
- **シンポジウム** 「ファッションにおける失敗—ジェンダー、そしてデザインの否定芸術」  
「科学の世界をフェミニズムがひらく?—フェミニズム科学論の可能性と課題」
  - **特別講義** 「企業トップの考えるダイバーシティ・マネジメント」

# 入試情報

## 学部別入学試験

学科(募集人数)	出願期間	入学試験日	合格発表日時	入学手続締切日
357名	1月6日(月)～1月23日(木) ※ 締切日消印有効	2月8日(土)	2月15日(土)9:30	3月5日(水) ※ 締切日消印有効

入学試験時間割・配点			試験科目
1時限	2時限	3時限	
10:00～11:00 (60分)	12:00～13:00 (60分)	14:20～15:20 (60分)	外国語 ……「英語」(英語コミュニケーションI～III、論理・表現I～III) 国語 ……「国語」(現代の国語、言語文化) ※漢文を除く 地理歴史、公民、……「歴史総合、世界史探究」、「歴史総合、日本史探究」 数学 ……「公共、政治・経済」、「数学」(数学I～II、数学A、数学B「数列」、数学C「ベクトル」)から1科目選択
外国語(配点100点)	国語(配点100点)	地理歴史 <sup>※1</sup> 、公民 <sup>※2</sup> 、数学(配点100点)	

※1・2 ただし2025年度においては、旧教育課程履修者に配慮し、「歴史総合」および「公共」は出題しない。

## 全学部統一入学試験

学科(募集人数)	出願期間	入学試験日	合格発表日時	入学手続締切日	試験会場
25名	1月6日(月)～1月17日(金) ※ 締切日消印有効	2月5日(水)	2月15日(土)9:30	3月5日(水) ※ 締切日消印有効	東京(本学キャンパス)、 神奈川(本学キャンパス)、 札幌、仙台、名古屋、大阪、 広島、福岡

利用する「全学部統一入学試験」の教科・科目・配点等			
教科	時限	科目	配点
外国語	1時限 9:30～10:30 (60分)	「英語」(英語コミュニケーションI～III、論理・表現I～III)、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目選択	150点
● 下記の5教科9科目のうちから2科目を選択。3科目を受験した場合には、高得点の科目を合否判定に利用する。			
国語	2時限 11:30～12:30 (60分)	「国語」(現代の国語、言語文化) ※漢文を除く	200点(100点×2)
地理歴史・公民・理科	3時限 13:50～14:50 (60分)	「歴史総合、世界史探究」、「歴史総合、日本史探究」、「地理総合、地理探究」、「公共、政治・経済」、「物理」(物理基礎、物理)、「化学」(化学基礎、化学)、「生物」(生物基礎、生物)	
数学	4時限 15:50～16:50 (60分)	「数学」(数学I～II、数学A、数学B「数列」、数学C「ベクトル」)	
合計(3科目)			350点

## 大学入学共通テスト利用入学試験(3科目方式)

入学試験日は、「令和7年度大学入学共通テスト受験案内」を参照してください。

学科(募集人数)	出願期間	試験日	合格発表日時	入学手続締切日
30名	1月6日(月)～1月17日(金) ※ 締切日消印有効	1月18日(土)・1月19日(日)	2月15日(土)9:30	3月5日(水) ※ 締切日消印有効

利用する「大学共通テスト」の教科・科目・配点等		
教科	科目	配点
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1科目 『英語』は、「リーディングの配点100点を200点に換算した点数」、または、「リーディングの配点100点を160点に換算し、リスニングの配点100点を40点に換算し、リーディングとリスニングの換算合計点数」のいずれか高得点の成績を合否判定に利用する。	200点
● 下記の科目のうちから1科目を選択。2科目以上を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。		
国語	『国語』	200点
数学	『数学I、数学A』、『数学II、数学B、数学C』 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。 経過措置科目:『旧数学I・旧数学A』、『旧数学II・旧数学B』	
● 下記の科目のうちから1科目を選択。2科目以上を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。 「地理歴史」「公民」および「理科」は、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とする。		
地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。 経過措置科目:『旧世界史B』、『旧日本史B』、『旧地理B』	200点
公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。 経過措置科目:『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』	
理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。	
情報	『情報I』 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。 経過措置科目:『旧情報』	
合計(3科目)		600点

## 大学入学共通テスト利用入学試験(6科目方式)

入学試験日は、「令和7年度大学入学共通テスト受験案内」を参照してください。

学科(募集人数)	出願期間	試験日	合格発表日時	入学手続締切日
10名	1月6日(月)～1月17日(金) ※ 締切日消印有効	1月18日(土)・1月19日(日)	2月15日(土)9:30	3月5日(水) ※ 締切日消印有効

利用する「大学共通テスト」の教科・科目・配点等		
教科	科目	配点
国語	『国語』	200点
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1科目 『英語』は、「リーディングの配点100点を200点に換算した点数」、または、「リーディングの配点100点を160点に換算し、リスニングの配点100点を40点に換算し、リーディングとリスニングの換算合計点数」のいずれか高得点の成績を合否判定に利用する。	200点
数学	『数学I、数学A』 経過措置科目:『旧数学I・旧数学A』 『数学II、数学B、数学C』 経過措置科目:『旧数学II・旧数学B』	100点 100点
● 下記の科目のうちから2科目を選択。3科目以上を受験した場合には、高得点の2科目の成績を合否判定に利用する。 同一教科内について、2科目の利用も可。「地理歴史」「公民」および「理科」は、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とする。		
地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』 経過措置科目:『旧世界史B』、『旧日本史B』、『旧地理B』	200点 (100点×2)
公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』 経過措置科目:『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』	
理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	
情報	『情報I』 経過措置科目:『旧情報』	
合計(6科目)		800点

## 特別入学試験

- 付属校推薦入試(55名)
  - 指定校推薦入試(15名)
  - スポーツ特別入試(8名)
  - 外国人留学生入試(20名)
- 詳細は、情報コミュニケーション学部事務室 (TEL.03-3296-4262～64) までお問い合わせください。



# 明治大学情報コミュニケーション学部がわかる **9**つのポイント

## 情報コミュニケーション学って?

自ら問いを立てる



**学際性と多様性**

## 学科・科目

1学科 800 授業から選択



**マイカリキュラム**

## 国際・留学

世界を身近に



**誰でも挑戦できる  
国際交流**

## 創造と表現

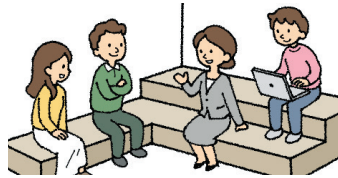
映像・アート・音楽・ダンスなど



**あらゆる表現  
を支援**

## ゼミナール

専門分野を少人数で



**1年生から**

## 語学

言語背景も学ぶ



**多彩な語学教育**

## 研究交流祭

ゼミの成果を発表



**学年を超えた  
交流**

## 教員紹介

成長をサポート



**多分野で活躍する  
教員たち**

## キャリア教育・進路

幅広い就職先



**4人に1人が  
マスコミ・通信業界へ**

詳しくはこちらを **CHECK!**

受験生のための学部選択ガイド Step into Meiji University

<https://www.meiji.ac.jp/stepinto/infocom>



LINE @meijixam

一人ひとりにぴったりの入試やイベントの情報を  
お知らせ。LINEだけのイベントもやってるよ!!



登録してくれた?

● 明治大学入試総合サイト

<https://www.meiji.ac.jp/exam/>

